

## 第2編 在来野草種毎の生育特性

平成26～28年度にかけて調査を行った公共事業における法面や公園等での緑化利用を考慮した、在来野草200種の生育特性を示す。また、発芽試験等により草種毎の種子採取、保管、生産の特性を把握した41種について詳細を示す。

### 第1章 在来野草200種の生育特性

主に法面や公園等の草本で覆われた緑化施設への利用に加え、以下の条件に基づき選定した、在来野草200種の生育特性を一覧表で示す。

なお、草種の選定にあたっては自然分布域や生育特性の確認を行うことが必要である。

#### 【在来野草200種の選定条件】

- ・法面や公園利用を主とし草地（ススキ型・シバ型）植物、林床（二次林）植物より選定
- ・多様化する緑化ニーズ（観賞・文化・活用）に対応しうる植物を選定
- ・地域的な偏りが少ない植物種を選定
- ・他植物への悪影響種は除外

種名	頁	種名	頁	種名	頁
アオイスミレ	2-3	イブキジャコウソウ	2-8	カシワバハグマ	2-13
アオスゲ		イブキボウフウ		カセンソウ	
アカショウマ		ウシクサ		カタバミ	
アカネ		ウシノケグサ		カナビキソウ	
アキカラマツ		ウシハコベ		カニツリグサ	
アキノキリンソウ	2-4	ウツボグサ	2-9	カモジグサ	2-14
アキノタムラソウ		ウド		カラスビシャク	
アキノノゲシ		ウマノアシガタ		カラマツソウ	
アケビ		ウメバチソウ		カワラナデシコ	
アケボノスミレ		オオアブラススキ		カワラマツバ	
アサマフウロ	2-5	オオカモメヅル	2-10	カンアオイ	2-15
アズマスゲ		オオバギボウシ		カントウタンポポ	
アゼナルコ		オオバコ		キキョウ	
アブラススキ		オオヤマフスマ		キジムシロ	
アマチャヅル		オカスズメノヒエ		キツネノマゴ	
アマドコロ	2-6	オカトラノオ	2-11	キヌタソウ	2-16
アリノトウグサ		オケラ		キバナアキギリ	
イカリソウ		オトギリソウ		キンミズヒキ	
イチゴツナギ		オトコエシ		クサイ	
イチヤクソウ		オニシバリ		クサボケ	
イヌタデ	2-7	オニタビラコ	2-12	クサボタン	2-17
イヌナズナ		オヘビイチゴ		クララ	
イヌヤマハッカ		オミナエシ		クロヒナスゲ	
イヌヨモギ		オヤマボクチ		グンバイヅル	
イノコズチ属		カキドオシ		ケスゲ	

種名	頁	種名	頁	種名	頁
ケチヂミザサ	2-18	ツリガネニンジン	2-27	フデリンドウ	2-36
ゲンノショウコ		ツルニンジン		ホウチャクソウ	
コウゾリナ		ツルボ		ホタルカズラ	
コウヤボウキ		ツルリンドウ		ホタルブクロ	
コウリンカ		テイカカズラ		ホンモンジスゲ	
コケリンドウ	2-19	テリハノイバラ	2-28	マキエハギ	2-37
コシノホンモンジスゲ		テンツキ		マツムシソウ	
コスミレ		トダシバ		マムシグサ (広義)	
コナスビ		トボシガラ		ミズヒキ	
コバギボウシ		トリアシショウマ		ミツバアケビ	
コバノタツナミソウ	2-20	ナキリスゲ	2-29	ミツバツチグリ	2-38
コブナグサ		ナツトウダイ		ミミナグサ	
ササガヤ		ナルコユリ		ミヤコアザミ	
サナギイチゴ		ナワシロイチゴ		ミヤコグサ	
サルマメ		ナンテンハギ		ムベ	
シシウド	2-21	ニガナ	2-30	モミジイチゴ	2-39
シハイスミレ		ヌカボ		モリアザミ	
シバスゲ		ヌスビトハギ		ヤクシソウ	
シャジクソウ		ネコハギ		ヤハズエンドウ	
シラヤマギク		ネジバナ		ヤハズソウ	
シロヨメナ	2-22	ネズミガヤ	2-31	ヤブレガサ	2-40
スイバ		ネバリノギラン		ヤマアワ	
スズサイコ		ノアザミ		ヤマオダマキ	
スズメノカタビラ		ノイバラ		ヤマカモジグサ	
スズメノチャヒキ		ノガリヤス		ヤマジノホトトギス	
スズメノヒエ	2-23	ノカンゾウ	2-32	ヤマニガナ	2-41
スズメノヤリ		ノゲシ		ヤマハッカ	
スズラン		ノコンギク		ヤマホトトギス	
スミレ		ノダケ		ヤマユリ	
センニンソウ		ノチドメ		ヤマラッキョウ	
センボンヤリ	2-24	ノハラアザミ	2-33	ヨツバヒヨドリ	2-42
タカトウダイ		ハイメドハギ		ヨツバムグラ	
タガネソウ		ハエドクソウ		リュウノウギク	
タチコゴメグサ		ハハコグサ		リンドウ	
タチシオデ		ハバヤマボクチ		ワレモコウ	
タチツボスミレ	2-25	ヒカゲスゲ	2-34		
タムラソウ		ヒキオコシ			
チゴユリ		ヒゴクサ			
チダケサシ		ヒトリシズカ			
チチコグサ		ヒメカンスゲ			
チョウセンガリヤス	2-26	ヒメスゲ	2-35		
ツクシハギ		ヒメハギ			
ツボクサ		ヒヨドリバナ			
ツメクサ		フキ			
ツユクサ		フタリシズカ			

種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト 記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区 分	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値					
アオイスミレ	○	スミレ科	北陸、 本州、 四国、 九州	やや湿った 場所	そう生形	落葉性	開花期: 4月~6月	種子にはゼ リー状の種粒、その他 根伏せ	種子 散	淡紫から白に かけて薄い色 の花	情報なし	情報なし	環境省・無 都道府県・無	名前が葉が菱の葉の形に似ているので付いた。 早春に最初に花を開くスミレのひとつ		
		<i>Viola hondoensis</i>	丘陵、 山地		5cm~ 10cm	多年草		動物散布								
アオスグ	○	カヤツリグサ 科	日本全土	適度に湿り、日 気がある、日 の当たる場 所	そう生形	落葉性	開花期: 4月~5月	果実は倒卵 形、3稜形で、 柱基はやや 大きな付属体 となる	種子	—	情報なし	情報なし	生育環境の広さもあって、変異の幅が極めて広い。 【近縁在来種】クサスグ、ヌカスグ他			
		<i>Carex leucochlora</i>	低地、 丘陵、 山地		15cm~ 50cm	多年草		情報なし								
アカンヨウマ	○	ユキノシタ科	本州、 四国、 九州	半日陰にな るような場 所	直立形	落葉性	開花期: 6~7月	さく果(熟す と下果が裂 け、種子が散 布される果 実)	種子 株分け 自動散布	茎先の総状 花序に多数 の白い小さな 5弁花 花序は横に 広がる	情報なし	情報なし	根茎が赤いことからアカンヨウマの名が付いたとされる。 株分けによらず。 【近縁在来種】ハナチヂヂケサシ、チヂヂケサシ、トリアシヨ ウマ			
		<i>Astilbe thunbergii</i>	丘陵、 山地		40cm~ 80cm	多年草										
アカネ	○	アカネ科	本州、 四国、 九州	山野にごく 普通に見ら れる	つる形	落葉性	成長期: 4月~11月 開花期: 8月~9月	3mm、しわが 多い	種子 株分け 動物散布	枝の先端に 小さい淡黄緑 色の花 黒い実	俳句 秋の季 語 万葉集に登 場	情報なし	茜染めの染料はこの根を使う。 蕪の蔓が伸びる生育盛んな頃、根元の方から1本蔓を切 り取る。方形の蔓の茎には逆刺があるので、蔓を丁寧に 選り分ける。蔓には輪生する4枚の葉があるので、それを 節として中間で切り、水揚げを充分にして、用土に挿す。			
		<i>Rubia aroyi</i>	山地		—	多年草										
アキカラマツ	○	キンポウゲ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	直立形	落葉性	成長期: 4~10月 開花期: 7~9月	4mm 瘦果※は 雌しべと同数 の2~4個ず つつき、種子 が1個入る	種子 株分け 刈り取り残渣 自動散布	淡黄色の円 錐花序の花	生薬として利 用可	人体:有(全草 が有毒)	花の後には楕円球状の葉ができる。 【近縁在来種】ヤエキンポウゲ、ヤマキンポウゲ			
		<i>Thalictrum minus var. hypoleucu m</i>	丘陵、 山地		70cm~ 150cm	多年草										

※瘦果:熟しても裂開せず、種子は1つで全体が種子のように見えるもの

種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性	注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	実(種子) の外観	生活史	繁殖方法 種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値				
アキノキリンソウ	○	キク科	本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	直立形	落葉性	成長期： 4月～11月 開花期： 8月～10月	種子 株分け さし芽・挿し木	茎先に出した 穂状花序に 多数の黄色 い頭花	葉草として利 用可 山野草栽培 俳句 初秋の季語	人体：花粉症 の原因のアレ ルゲン 畑地：情報な し	環境省：無 都道府県：有	別名「アワダチソウ」 秋に咲く黄金色の花の代表のひとつ 開花期が長く楽しめる。 2月～3月の芽出し直前に3～5芽で1株程度にハサミで 切る。 5月～6月に新芽の先端をさす。 【種子の保存性】1年間の常温保存が可能 【近縁外来種】セイカアワダチソウ、オオアワダチソウ 【近縁在来種】ミヤマアキノキリンソウ ヤウソウ		
	○	Solidago virgaurea var. asiatica	低地、 丘陵、 山地、 亜高山		80cm	多年草		風散布							
アキノタムラソウ	○	シソ科	本州、 四国、 九州、 沖縄	風通しの良 い日当たり のよい場所	直立形	落葉性	成長期： 4月～9月 開花期： 7月～11月	種子 株分け 刈り取り残渣	淡紅紫色の 花	情報なし	情報なし	環境省：無 都道府県：有	「アキノ」とつくが夏に咲く。 真っ赤なサルビアの仲間である。 【近縁在来種】シロバナアキノタムラソウ、ナツノタムラソ ウ、シマタムラソウ、タジマタムラソウ		
	○	Salvia japonica	丘陵、 山地		20cm～ 80cm	多年草		自動散布							
アキノゲン	○	キク科	日本全土	日当たりの よい場所	直立形	—	成長期： 10月～11月 (翌年) 開花期： 8月～10月	種子	茎の上部に 円錐上に淡 黄色の花	若葉を食用と して使用可	人体：無 畑地：情報な し	環境省：無 都道府県：無	春から秋まで花をつける。 【出芽期】9～11月、3～5月 【近縁在来種】ホソアキノゲンシ、ヤマニガナ		
		Lactuca indica	低地、 丘陵、 山地		150cm～ 200cm	一・二年 草		風散布							
アケビ	○	アケビ科	本州、 四国、 九州	林縁	つる形	落葉性	開花期： 4～5月	種子 接ぎ木	垂れさがって 咲く淡紫色の 花 長楕円形の 淡紫色の実	若芽と果実を 食用として使 用可 生薬として利 用可 春の季語 万 葉集に使用	人体：無 農地：情報な し	環境省：無 都道府県：有	実は熟すと裂けることから「開裂」が転じて、アケビとなっ た。 【生育特性】 ・耐暑性：強い ・耐寒性：強い 【近縁在来種】ミツハアケビ、ゴヨウアケビ、ムベ		
		Akebia quinata	丘陵、 山地		—	木本類		動物散布							
アケボノスミレ	○	スミレ科	本州、 四国	日当たりの よい所や半 日陰	そう生形	落葉性	開花期： 3月～5月	種子	目のさめるよ うな紅紫色	季語	情報なし	環境省：無 都道府県：有	夜明けの空の色(曙色)にたとえた名前。 葉が出る前に花が咲く。		
		Viola rossii	山地		5cm～ 10cm	多年草		自動散布							








種名	基本情報										緑化植物としての有用性		レッドリスト記載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値	注意 事項	環境省:有 (準絶滅危 惧) 都道府県:有		
アサマフウロ	○	フウロソウ科	本州	湿り気のあ る場所	そう生形 60cm~ 80cm	開花期: 4月~6月	蒴果は長さ3 cm	種子 株分け 自動散布	濃紅紫色の 花 葉は紅葉によ り黄色から赤 に変化	情報なし	情報なし	環境省:有 (準絶滅危 惧) 都道府県:有	和名は浅間山麓地方に多いことによる。 フウロソウの中では最も大型 【近縁在来種】ツクシフウロ	
アズマスゲ	○	カヤツリグサ 科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい岩地・草 地	そう生形 5cm~ 15cm	情報なし	情報なし	種子 情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	特になし		
アゼナルコ	○	カヤツリグサ 科	北海道、 本州	湿った場所	そう生形 40cm~ 80cm	開花期: 5月~6月	果実は果胞よ りかなり小さ く、長さ1.8mm の扁平な倒 卵形、褐色~ 暗褐色	種子 情報なし	-	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名は田のあぜに生え、小穂が鳴子のように並んで垂 れることによる。 【近縁在来種】ツクシナルコ、ヤラムスゲ		
アブラススキ	○	イネ科	日本全土	情報なし	直立形 90cm~ 120cm	成長期: 4月~10月 開花期: 9月~10月	2.5mm。 果実(穎果) は長さ約3mm と大きく、褐 色。	種子 刈り取り残渣 情報なし	-	情報なし	環境省:無 都道府県:無	茎や花の軸からカメムシのようないやな臭いの粘液を出 す。 ススキを参考 【近縁在来種】ヒメアブラススキ、オオアブラススキ		
アマチャヅル	○	ウリ科	北海道、 本州、 四国、 九州	情報なし	つる形 -	成長期: 4~10月 開花期: 7月~9月	果実は倒卵 形で、約 1.3mm、8個 の稜がある。	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	房状の黄緑 色の花 黒緑色の果 実	情報なし	環境省:無 都道府県:無	雌雄異株。葉を噛むとかすかにアマチャヤのような甘味が あるともいわれるが苦い。花のつく頃に3節ほどの長さ 切りとって葉を1節だけ残して土の中に植え込む。 【近縁在来種】ヤブガラシ		

種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	実(種子) の外観	生活史	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
アマドコロ	○	ユリ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たり～ 明るい日陰	直立形 30cm～ 80cm	落葉性 多年草	開花期： 4月～5月	液果は径約 1mm内外の 球形で、黒紫 色に熟す 種子は卵形、 長さ3.5mm	種子 株分け 動物散布	長い釣鐘形を した緑白色の 花 広い楕円形 の葉 黒紫色の実	食用として利 用可 觀賞用、切り 花、山野草裁 培としての利 用可	人体：有(果 実に毒性) 畑地：情報な し	環境省：無 都道府県：有	名前の由来は、太い根茎の形がトコロコ(ヤマノイモ)に似 ていて、甘みがあることによる。 適期は早春の芽出し前か、秋の落葉後。根茎は枝分か れしてふえるので、分かれたつげ根のところで切り分け る。 【生育特性】 ・耐乾燥性：強い ・耐陰性：有 ・耐暑性：普通 ・耐寒性：強い 【近縁在来種】ナルコユリ		
アリハトウグサ	○	アリハトウグサ 科	日本全土	日当たりの よい場所	ほふく形 10cm～ 30cm	落葉性 多年草	成長期： 5～10月 開花期： 7月～9月	果実(熟すと 約 1.3mm、8個 の稜がある。	種子 自動散布	情報なし	情報なし	環境省：無 都道府県：有	和名は小さな花が草を登っているように見えること から。			
イカリソウ		メギ科	北海道、 本州	半日陰	そう生形 20cm～ 40cm	落葉性 多年草	成長期： 3～10月 開花期： 4～5月 結実期： 5月	袋果(熟すと 果皮が自然 に裂けて種子 を放出する)	種子 株分け 自動散布	枝先に十字 型の紅紫色 から白色の花 少しびつに なった長めの ハート型の葉	春の季語 葉草として利 用可 食用として使 用可	人体：無 農地：情報な し	環境省：無 都道府県：有	花の形が錠に似ていることが名の由来。発芽前の2月に 古い用土を落とし、傷んだ根を整理し、2～3芽ついたニン ジン根を1本ずつに分ける。 【種子の保存性】乾燥に弱いので、保管できない。 【生育特性】 ・耐陰性：有 ・耐暑性：強い ・耐寒性：強い 【近縁在来種】トキワイカリソウ		
イチゴツナギ	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	そう生形 50cm～ 70cm	落葉性 多年草	開花期： 5月～7月	果実は淡褐 色、長さ1～ 1.3mm	種子 情報なし	情報なし	情報なし	環境省：無 都道府県：無	別名【ザラツキイチゴツナギ】 和名は莖つなぎで細い莖にイチゴをさせたことによる。 別名は莖の上部や花序の枝がざらつくことによる。 【近縁外来種】コイチゴツナギ 【近縁在来種】ミジイチゴツナギ			
イチヤクソウ	○	イチヤクソウ 科	北海道、 本州、 四国、 九州	明るい林の 中	直立形 5cm～ 30cm	常緑性 多年草	開花期： 6月～7月	蒴果は直径7 ～8mm、扁球形	種子 自動散布	茎先の総状 花序に、5～ 10輪の白い 花	民間で葉草と して使用可	環境省：無 都道府県：有	民間で、全草を1本まるごと乾燥させて薬用にすることか ら「一葉草」となったのが名前の由来 【近縁在来種】マルバノイチヤクソウ、ベニバナイチヤクソ ウ			

種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性			注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史 分	生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値						
イヌタデ	○	タデ科	日本全土	湿性のある 日当たりの よい草地	分枝形	一	成長期: 4~11月 開花期: 5~11月	瘦果で、黒く 熟する。種子 は三稜形で 2mm程度	種子 自動散布	穂状の紅紫 色(まれに白 色)の花	春の季語。観 賞用栽培 薬草として利 用可 草花遊びに利 用	人体:鼻炎の 原因のアレル ゲン 農地:害草 (強)(細地雑 草)	環境省:無 都道府県:無	イヌタデの名には「食べられない藨」という意味合いがあ る。 種子は重力散布(散布型区分では自動散布を含む) 【近縁在来種】サナエタデ、ヒメタデ、ハルタデ、ハナタデ、 オオイヌタデ、アオヒメタデ			
		Persicaria longisetata	低地、 丘陵、 山地		20cm~ 30cm	一・二年 草			自動散布								
イヌナズナ	○	アブラナ科	北海道、 本州、 四国、 九州	情報なし	分枝形	一	開花期: 3~4月	種子は長さ 0.5~0.7mm、 赤褐色	種子 自動散布	茎の頂に黄 色の4弁花の 総状花序	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名は食べられないナズナという意味 種子は重力散布(散布型区分では自動散布を含む) 【近縁在来種】ナズナ			
		Draba nemorosa	情報なし		10cm~ 20cm	一・二年 草			自動散布								
イヌヤマハッカ	○	シソ科	本州、 四国、 九州	情報なし	直立形	落葉性	開花期: 9月~10月	情報なし	種子 刈り取り残渣	青紫色の花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	弱々しい感じのする植物 ヤマハッカの植物情報をもとに記載 【近縁在来種】ヤマハッカ、コウシンヤマハッカ、タイリンヤ マハッカ			
		Isodon umbrosus	山地		60cm~ 80cm	多年草			自動散布								
イヌモギ	○	キク科	北海道、 本州、 四国、 九州	やや乾いた 場所	そう生形	落葉性	開花期: 8月~10月	瘦果は長さ約 2mm	種子 刈り取り残渣	-	情報なし	人体:花粉症 の原因のア レルゲン 知地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	茎は株立ちとなり、下部は木質化する。 ヨモギを参考			
		Artemisia keiskeana	丘陵		30cm~ 80cm	多年草			情報なし								
イノコズチ属	○	ヒユ科	本州、 四国、 九州	日当たりの よい空地	直立形	落葉性	成長期: 3~10月 開花期: 8月~9月	胞果は花被 に包まれて下 向きに圧着	種子 株分け 動物散布	無	食用(若葉、 若い穂)として 使用可 葉草(根)とし て利用可	人体:有(薬 草利用で妊 婦は注意)	環境省:無 都道府県:有	ヒナタノコズチの植物情報をもとに記載 種子は付着散布(上記では動物散布を含む) 栄養繁殖器官は根			
		Achyranthes bidentata var.	丘陵、 山地		60cm~ 100cm	多年草			動物散布								

種名	草地 二次林	基本情報										留意事項	レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	親賞性	文化・生活上 の価値			
イブキジャコウソウ	○	シン科 Thymus serpyllum ssp. quinquecostatus	北海道、本州、九州	比較的涼しい環境	ほふく形	常緑性	成長期：3月～10月 開花期：6月～7月	果実は4分果	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	茎先に淡い紅色の小さな花は紅葉	薬草として利用可 香料植物として広く世界中で栽培	人体：無し 畑地：情報無し	環境省：無し 都道府県：有	麝香(じゃこう)のような香りがする。すぐに若い芽が目立って劣化するようになるので、植え替える兼ねて株分けで更新する 4月～9月が適期【生育特性】 ・耐陰性：無し ・耐暑性：普通 ・耐寒性：普通 【近縁在来種】シロハナイブキジャコウソウ
イブキボウフウ	○	ゼリ科	北海道、本州、四国、九州	日当たりの良い場所	直立形	落葉性	開花期：8月～9月	果実は長さ2.5～3.5mmの扁平な楕円形、有毛	種子 自動散布	複数の散形花序(たぐさん)が枝から出て、先に1個つづつ花がつく)を出す小さな白い花	情報無し	情報無し	環境省：無し 都道府県：有	最初に伊吹山で見つかった。【近縁在来種】ハマイブキボウフウ、タカネイブキボウフウ
ウシクサ	○	Seseli libanotis ssp. japonica	山地	湿地	そう生形	一・二年草	開花期：9月～10月	果実は、楕円で狭長卵形で長さ約1.5mm	種子 情報無し	情報無し	情報無し	情報無し	環境省：無し 都道府県：有	どこでも採られる雑草 草体は軟弱 【近縁外来種】メリケンカルカヤ
ウシノケグサ	○	イネ科 Schizachyrium brevifolium	北海道、本州、四国、九州	情報無し	そう生形	落葉性	開花期：6月～8月	情報無し	種子 株分け 情報無し	情報無し	情報無し	情報無し	環境省：無し 都道府県：無し	アオウシノケグサの近縁種 気温の低い時期が適し、秋は10月以降11月まで、春は3月から4月に株分けを行う。株分けの際、根の少ないものや芽だけになったものは、ポットなどで育て、根が十分に伸びてから植える。 【近縁在来種】アオウシノケグサ、タカネウシノケグサ、チイサンウシノケグサ他
ウシハコベ	○	ナデシコ科 Stellaria aquatica	日本全土	やや日陰の湿った土地	分枝形	一・二年草	成長期：始と通年 開花期：4月～8月	種子は長さ1.0～1.1mmのやや楕円の厚い円盤形で、全体に低い突起がある	種子 自動散布	白色の5弁花。花弁は深く裂ける	食用として使用可 平安時代初期の「本草和名」に「ハコベラ」(ハコベ)の名が現れる	農地：害草(中～強)(畑地雑草)	環境省：無し 都道府県：無し	草姿や葉などが大きくなるため、ハコベの仲間に出して大きいという意味で「ウシ」(牛)「ハコベ」。種子は重力散布(散布型区分では自動散布に含む) 【近縁在来種】ミドリハコベ、コハコベ



種名	草地 二次林	基本情報						緑化植物としての有用性				注意 事項	レッドリスト 記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値	人体・無 畑地:情報な し			
ウツボグサ 	○	シソ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	ほふく形 草丈	成長期: 4月~9月 開花期: 6月~8月 結実期: 7月~8月	実(種子) の外観	種子 散布型	枝先の花穂 に密に紫色の 唇形花	食用として使 用可 葉草と して利用可 蕨類類群図 鑑※に掲載 山野草栽培と して利用可 俳句 仲夏の 季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	別名「夏枯草(かこそう)」。自生する白花もあるが稀。 茶葉繁殖器官は葡萄茎 花後株元から新芽が伸びて茎になるので、新芽を2~3 本つけて根を分ける。 【生育特性】 ・耐乾性:普通 ・耐暑性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】タテヤマウツボグサ、ミヤマウツボグサ	
		<i>Prunella vulgaris ssp.asiatica</i>	低地、 丘陵、 山地		20cm~ 30cm	多年草	実(種子) の外観	自動散布						
ウド 	○	ウコギ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所 半日陰	分枝形 草丈	成長期: 3~9月 開花期: 8月~9月	実(種子) の外観	種子 散布型	淡緑色の5弁 花。球状の散 形花序を多数 つけた大型の 花	薬用として利 用可 食用と して利用可 俳句 季語	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	茎は中空で成長したものは食用にも材用にもならないこ とから「ウドの木」という言葉がある。 【生育特性】 ・成長性:速い	
		<i>Aralia cordata</i>	丘陵、 山地		100cm~ 150cm	多年草	実(種子) の外観	動物散布						
ウマノアシガタ 	○	キンポウゲ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	直立形 草丈	成長期: 4~9月 開花期: 4~5月	実(種子) の外観	種子 散布型	枝先に光沢 のある黄色の 5弁花	俳句 晩春の 季語	人体:有(毒 性)	環境省:無 都道府県:有	根生葉が馬のひずめに似ている。 【近縁在来種】ヤエキンポウゲ、ミヤマキンポウゲ	
		<i>Ranunculus japonicus</i>	山地		30cm~ 60cm	多年草	実(種子) の外観	自動散布						
ウメバチソウ 	○	ユキノシタ科	北海道、 本州、 四国、 九州	湿り気のあ る日当たり のよいところ	直立形 草丈	開花期: 8~10月	実(種子) の外観	株分け 風散布	茎先に白い5 弁花	俳句 晩夏の 季語	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	大宰府の天満宮の神敏「梅鉢紋」に見立てて、ウメバチ ソウの名になった。 大きく育った株を半分か3等分程度に分ける 小割りにし ない。 【生育特性】 ・耐陰性:無し、耐暑性:弱い、耐寒性:強い 【近縁在来種】コウメバチソウ、ヒメウメバチソウ、エゾウメ バチソウ	
		<i>Parnassia palustris var.multiseta</i>	山地、 亜高山、 高山		10cm~ 40cm	多年草	実(種子) の外観							
オオアブラソウ 	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	そう生形 草丈	開花期: 8月~10月	実(種子) の外観	種子 刈り取り残渣 情報なし	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	油質を帯びているアブラソウに似ている。 アブラソウを参考 【近縁在来種】ミヤマアブラソウ	
		<i>Spodiopogon sibiricus</i>	山地		70cm~ 150cm (200cm)	多年草	実(種子) の外観							

※ 蕨類類群図鑑: 江戸時代(安永8年(1779))に幕臣の戸田祐之より幕府に献上された葉草類の写生画集。江戸の人々に親しまれた植物が掲載されているもの。

種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値				
オオカモメヅル	○	ガガイモ科 Tylophora aristolochioides	北海道、 本州、 四国、 九州	林内	つる形	落葉性	開花期: 7月~9月	袋果は長さ5 ~7cmの披針 形、2個の場 合はほぼ直 線に並ぶ	種子 自動散布	葉腋に直径4 ~6mm、暗紫 褐色~淡紫 褐色の花冠 がつく	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	カガイモ科特有の袋果(実)を2個つける。 【近縁在来種】コカモメヅル、コバナカモメヅル	
オオハギボウシ	○	ユリ科	北海道、 本州、 四国、 九州	湿った場所	そう生形	落葉性	開花期: 7月~8月	実はさく果(熟 すると下部が 裂け、種子が 散布される果 実)で、種子 には翼がある	種子 株分け 風散布	白に近い薄紫 色の星状花 長さ30~40c mにもなる卵 型の大きな葉	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	花は、一日花で、朝咲いて午後にはしぼむ。 株分けは3年に一度ぐらいの頻度が目安。充実した株を 分ける。掘り上げた株を、一株に3個以上の芽が付くよう にナイフで切り分ける。分けた株は新芽が地面に隠れる 程度の深さに植え付ける。 【近縁在来種】キヨスミギボウシ		
オオハコ	○	オオハコ科 Plantago asiatica	日本全土 低地、 丘陵、 山地、 亜高山	日当たりの よい場所	ロゼット形	落葉性	成長期: 4~3月 開花期: 4月~9月 結実期: 6月~11月	茶~黒褐色 で長さ約2mm の扁平倒卵 形	種子 動物散布	穂状に白い小 花	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:無	オオハコの種子は濡れると粘着力をもち、靴の裏につい て広まるので人の歩いた場所によく生息する。 【種子の保存性】2年間の常温保存が可能 【近縁在来種】セイヨオオハコ 【近縁在来種】トウオオハコ		
オオヤマフスマ	○	ナデシコ科 Moehringia lateriflora	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい草地や 林の中	直立形	落葉性	開花期: 6~8月	胡果は広卵 形。種子は卵 形で光沢があ り黒色	種子 自動散布	白い5弁花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	遺存種(生きている化石) 生存力が弱い 別名ヒメタガソデソウ		
オカスズメノヒエ	○	イグサ科 Luzula pallidescens	北海道、 本州、 四国、 九州	情報なし	情報なし	落葉性	開花期: 5月~7月	胡果は花被 片より長く、種 柄は ごく小さいが 明瞭	種子 情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	外見はスズメノヒエとそっくりである。 【近縁在来種】オカホシソウ、スズメノヒエ		

種名	二次林	基本情報				基本情報				緑化植物としての有用性		注意事項	レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育形 草丈	生育環境	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値	人体:無 畑地:情報なし			
オカトラノオ	○	サクラソウ科 Lysimachia clethroides	北海道、本州、四国、九州 低地、丘陵、山地	直立形 100cm	日当たりのよい場所	成長期: 4~10月 開花期: 7月~8月	果実はさく果、直径約2.5mmの卵球形 種子は、三角状で1mm程度	種子 株分け 自動散布	枝先に途中から垂れる総状花序に白色の花 葉は紅葉する	山野草栽培としての利用 食用(若葉、若芽)として の利用可 俳句 仲夏の季語	人体:無 畑地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	茎の先に多数の白い花を密につける。裏い中でも爽やかさを覚える花 株分けは植え替えと同時にを行う。 適当に地下茎を切って、芽の部分を分離して植え付ける。 【生育特性】 ・耐陰性:無 ・耐暑性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ヌメトラノオ、ノジトラノオ	
オケラ	○	キク科 Atractylodes japonica	本州、四国、九州 丘陵、山地	直立形 30cm~80cm	日当たりのよい場所	成長期: 4~11月 開花期: 9月~10月	5~6mm、瘦果は長さ約8mmの円柱形、長毛が密生し、冠毛がある。冠毛は褐色	種子 風散布	苞葉に包まれた白や淡紅色の花	食用として使用可 生薬(相壁)として 利用可 万葉集に登場	人体:無 畑地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	若芽が春の山菜として親しまれる。 【近縁在来種】ホソオケラ、オオハナオケラ	
オトギリソウ	○	オトギリソウ科 Hypericum erectum	日本全土 丘陵、山地	直立形 30cm~50cm	日当たりがよく風通しのよい場所	成長期: 4~8月 開花期: 7~8月	種子は約1mmで、円柱状	種子 株分け 自動散布	枝の先端に黄色い5弁花	薬草として利用可 季語 江戸時代の「大和本草」、「和漢三才図説」などの本草書に名が現れる	情報なし	環境省:無 都道府県:無	花は、1日花(朝開いて夕方に萎む) 【近縁在来種】ミヤコオトギリ、サワオトギリ、ヒメオトギリ、コケオトギリ、トモエンソウ、コゴメハオトギリ	
オトコエシ	○	オミナエシ科 Patrinia villosa	北海道、本州、四国、九州 低地、丘陵、山地	直立形 50cm~100cm	日当たりのよい場所	成長期: 4~10月 開花期: 8月~9月	果実は瘦果、長さ約3mmの倒卵形 小苞が大きくなって、翼状に果実を取り巻く	種子 株分け 風散布	多数の白色の花	俳句 初秋の季語 食用(若葉、若葉、冬越しの葉)としての利用可	人体:無 畑地:情報なし	環境省:有 (絶滅危惧Ⅱ類) 都道府県:有	別名「敗醬(はいしよう)」 黄花のオミナエシによく似て、白花で大きな草姿なので「男」をつけ、男郎花といわれる。 休眠期(3月頃)の植え替えと同時に、大きくなった株の根茎を切り分ける。あまり小分けにせず、2分割する程度にする。 【生育特性】 ・耐陰性:無 ・耐暑性:普通 ・耐寒性:普通 【近縁在来種】オミナエシ、キンレイカ	
オニシバリ	○	ジンチョウゲ科 Daphne pseudomezereum	本州(福島県以西)、四国、九州(中部以北) 低地	分枝形 100cm~	情報なし	開花期:3月~4月	果実は長さ5~8mmの長楕円形の核果、5~7月に真っ赤に熟す	種子 さし芽・挿し木 動物散布	黄緑色の花 紅色の果実	情報なし	人体:有(腹痛、血便、口内炎が発生) 農地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	樹皮の繊維が強く、鬼も縛れるほどだという意味の名前 本属の植物は根に共生菌をもち、植え替えは菌根が破壊されるので難しく、繁殖は挿木による。	

種名	草地 二次林	基本情報										レッドリスト記載	備考		
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形		生活史	実(種子) の外観	繁殖方法		緑化植物としての有用性			注意事項	
					草丈	生活型			種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値				
オニタビラコ	○	キク科	日本全土	様々な立地	直立形	開花期: 5月~10月	瘦果は長さ 1.5~2mm、上 向きの小刺が ついた白色の 冠毛がある	種子	茎の頂に多 数の黄色い 頭花	若芽、若葉を 食用として使 用可	人体:無 畑地:菅草 (中~強)	茎や葉が紫褐色を帯びることから、鬼(おに)が付いたとい う。 【近縁在来種】アオオニタビラコ コオニタビラコ ヤブタビ ラコ			
オヘビイチゴ	○	Youngia japonica	低地、 丘陵、 山地		20cm~ 100cm	開花期: 5月~6 月	瘦果は長さ約 0.5mm、褐色、 幅の狭い翼 状隆起線が ある	種子 栄養繁殖 株分け	花茎上部に 黄色い5弁花	季語	情報なし	ヘビイチゴ属とは異なる。 イチゴの実もでない。 栄養繁殖器官は匍匐茎			
オミナエシ	○	オミナエシ科 Patrinia scabiosaefolia	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい草原	直立形	成長期: 4~10月 開花期: 7月~9月	果実は長さ3 ~4mmの長 楕円形 オトコエシの ような大きな 翼はない	種子 株分け	茎上部に散 房状に多数 の黄色い花	食用として使 用可 七草 季語 万葉集 に登場 薬用として利 用可 山野草 栽培	人体:無 畑地:情報な し	8月旧盆の前に咲くため、墓前の花によく使われる。 また、秋の七草として親しまれている。 休眠期(3月頃)の穂え替えと同時に、大きくなった株の 根茎を切り分ける。根茎はかなり硬いので、剪定バサミ などを使う。あまり小分けにせず、2分割する程度にたどめ る。 【種子の保存性】冷蔵保存可(期間不明) 【生育特性】耐暑性:強い・耐寒性:強い 【近縁在来種】オトコエシ、キンレイカ			
オヤマボクシ	○	キク科 Synurus pungens	北海道、 本州、 四国	日当たりの 良い場所	直立形	開花期: 9月~10月	瘦果の冠毛 は華褐色、長 さ約15mm	種子 株分け	茎先や葉の 脇に直径4~ 5cmの頭花 筒状花は暗 い紫色	食用としての 使用可 観賞 用栽培	人体:無 畑地:情報な し	信州では蕎麦のつなぎに用いている。 【近縁在来種】ハバヤマボクシ			
カキオシ	○	シン科 Glechoma hederacea var.grandis	北海道、 本州、 四国	日当たりの よい湿った 場所	つる形	開花期: 4月~5月	分果は長さ約 2.0mm、扁平 な楕円形 表面には濃 茶褐色のしわ と微凹凸があ り滑らか	種子 栄養繁殖 株分け	葉の付け根に 淡紫色の唇 形花	食用として使 用可	人体:無 畑地:情報な し	別名「連鎖草」 全草にハッカに似た特有の強い香り 栄養繁殖器官は匍匐茎 種子は重力散布(左記散布型では自動散布に含む) 【出芽期】9~10月? 【近縁在来種】ツボクサ、ヤマネコノメソウ			

種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性			注意 事項	レッドリスト 記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育場所	生育形 草丈	生活区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
カシワバハハグマ		キク科	本州、 四国、 九州	乾いた場所	直立形	落葉性	成長期: 5月~11月 開花期: 8月~9月	10mm、冠毛を 含めた長さ20 mm	種子 散佈型	穂状に白色 の花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	カシワバに似た葉が茎の中部に集まってつく。			
カセンソウ	○	キク科	日本全土	日当たりの よい湿原	直立形	落葉性	開花期: 7月~9月	実は無毛。 長さ1.5~2 mm、無毛、褐 色~暗褐色。 冠毛は長さ7 ~8mm、褐色 を帯びる	種子 散佈型	茎先に頭花 筒状花、舌状 花とも黄色	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名は歌仙草とされるが、その意味は不明である。				
カタハミ	○	Inula salicina var. asiatica	山地、 亜高山、 高山	日なた	ほふく形	落葉性	成長期: 4~3月 開花期: 4月~10月 結実期: 5月~11月	1.5mm程度で やや扁平	種子 散佈型	花柄の先に 黄色い5弁花	俳句 季語 庶物類纂図 翼に掲載 薬草としての 利用可 遊び に利用	環境省:無 都道府県:無	葉は日が陰つたり夜になると折りたんだんぽうになる。 葉や茎はシュウ酸を含み酢っぱい。 栄養繁殖器官は匍匐茎 【出芽期】3~7月、9~11月 【近縁在来種】タチカタハミ、ケカタハミ、アカカタハミ、エン タチカタハミ				
カナビキソウ	○	Oxalis corniculata	低地、 丘陵、 山地	日当たりの 良い場所	そう生形	落葉性	開花期: 4~6月	果実は淡緑 色~淡褐色、 長さ2~2.5mm の楕円状壺 形	種子	—	葉草として利 用可	環境省:無 都道府県:無	半寄生の多年草				
カニツリグサ	○	Thesium chinense	丘陵、 山地	情報なし	そう生形	落葉性	開花期: 5月~6月	果実(蒴果) は長さ約3mm の乳褐色、長 楕円形	自動散佈	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	由来はこの種でカニを釣って遊んだことからによる。 【近縁在来種】チシマカニツリ、リシリカニツリ				
		Trisetum bifidum	丘陵		40cm~ 80cm	多年草			種子 散佈型	情報なし							

種名	草地	基本情報										レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値		
カモジグサ	○	イネ科	日本全土	日当たりの 良い場所	そう生形	落葉性	開花期: 5月~7月	果実は長さ約 5mm、淡黄色	種子 栄養繁殖 株分け	—	季語	環境省:無 都道府県:無	イネ科の雑草 栄養繁殖器官は根茎 種子は重力散布(散布型区分では自動散布を含む) 【出芽期】9~10月 【近縁外来種】ミスアカモジ 【近縁在来種】アオカモジグサ、オニカモジ、エンカモジグサ他
カラスビシャク	○	サトイモ科	日本全土	日陰地に多 い	直立形 20cm~ 40cm	落葉性	開花期: 5月~8月	花の後にでき る実は液果。 珠芽が小葉 の基部、球茎 から出た葉柄 の途中につく	種子 栄養繁殖 株分け 自動散布	—	球茎を薬用と して利用可 俳句 夏の季 語	環境省:無 都道府県:無	花の色は緑 仏炎苞を「柄杓」に見立て、人が使うには小さいということ から名づけられた。 種子や株分けの他、珠芽、球茎で繁殖 種子は重力散布(散布型区分では自動散布を含む) 【出芽期】4~6月
カラマツソウ	○	キンポウゲ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所、 湿った場所	直立形 50cm~ 120cm	落葉性	開花期: 7~9月	瘦果は広い 翼があり、長 さ3~4mmの柄 が あって 垂れ下がる	種子 株分け 風散布	房状の小さな 白又は薄紫 色の花	環境省:無 都道府県:有	和名の由来は、花の様子がカラマツの葉に似ていること から 株分けは、種替え時に手で軽く引く張って外れる程度で 分ける。 【種子の保存性】採りまき※または冷蔵保存 【生育特性】 ・耐陰性:有・耐暑性:やや弱い・耐寒性:普通 【近縁在来種】マンセンカラマツ、ミヤマカラマツ、モミジカ ラムツ	
カワラナデシコ	○	ナデシコ科	本州、 四国、 九州	日当たりと 水はけのよ い、開けた 風通しのあ る場所	そう生形 30cm~ 100cm	落葉性	成長期: 4~10月 開花期: 7~9月	種子は2mm 程度で扁平で 薄い	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	ふちが糸状に 裂ける淡紅紫 色の5弁花	環境省:無 都道府県:有	秋の七草。9月~6月がさし穂の適期。新芽が伸びてきた ら生育期はいつでも可。後の生育を考えると早い時期が よい。 【生育特性】 ・耐陰性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】エゾカワラナデシコ、タカネナデシコ、ハマ ナデシコ	
カワラマツバ	○	アカネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	乾いた日当 たりのよい 場所	直立形 30cm~ 80cm	落葉性	開花期: 7月~9月	果実は直径1 ~1.5mm	種子 自動散布	円錐花序に 花冠が4裂す る多数の小さ な白い花	環境省:無 都道府県:有	葉が松葉のようである。 【近縁在来種】キハナノカワラマツバ、チヨウセンカンワラ マツバ	

※採りまき:採取した種子をすぐに播くこと。




種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値				
カンアオイ	○	ウマノスズク サ科 Heterotropa kooyana var. nipponica	関東 山地	少し明るい 日陰	そう生形 10cm~ 30cm	常緑性 多年草	成長期: 3~4月 開花期: 10~2月	情報なし	株分け 自動散布	白斑や拍脈 がある濃い緑 の葉	情報なし	環境省:無 都道府県:有	葉表の白色模様と強い芳香が特徴。根が鉢いっぱい 回ったら、用土を落とし腐んだ根を整理し、根に3本以上 の葉茎と新芽をつけて株分け 【生育特性】 ・耐寒性:普通 ・耐陰性:有 ・耐暑性:普通 【近縁在来種】スズカカンアオイ、イワタカンアオイ、ヒメカ ンアオイ、ランヨウアオイ、コシノカンアオイ、アツミカンア オイ、ナンカイアオイ、ミヤコアオイ、サンヨウアオイ		
カントウタンポポ	○	キク科	関東、 中部	厳しい環境 でも可	ロゼット形 10cm~ 20cm	落葉性 多年草	成長期: 11月~6月 開花期: 3月~5月 結実期: 4月~6月	瘦果は4mm	種子 株分け 栄養繁殖 風散布	黄色の頭花	食用として使 用可 薬草として利 用可 季語	環境省:無 都道府県:有	セイヨウタンポポ(西洋蒲公英)よりも大型 栄養繁殖器官は根 【出芽期】9~11月		
キキョウ	○	Taraxacum platycarpum	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	直立形 50cm~ 100cm	落葉性 多年草	成長期: 4~10月 開花期: 7月~8月 結実期: 8月~9月	種子は2mm 程度、果実は 倒卵形の卵 果、熟すと上 端が裂開する	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	枝先に青紫 色の釣り鐘形 の5裂の花	薬用、食用と して使用可 遊びに利用 万葉集に登 場 山野草栽培 秋の七草 俳句 秋の季語	環境省:有 (絶滅危惧Ⅱ 類) 都道府県:有	秋の七草のひとつ 株分けは2月~3月の芽出し直前に自然に株が分かれる 部分で分ける。根茎を分ける場合は切り口に殺菌剤を塗 る。 さし芽は5月~6月に新芽の先端をさす。 【生育特性】 ・耐寒性:無 ・耐陰性:無 ・耐暑性:強い 【近縁在来種】ヒナギキョウ、ツリガネニンジン、シデジャシ ン		
キジムシロ	○	バラ科 Potentilla fragarioides var. major	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	分枝形 5cm~ 30cm	落葉性 多年草	開花期: 4~5月	淡褐色の小さ な(径1.2mm 程度)種子	種子 栄養繁殖 株分け 動物散布 アリ散布	花茎の先に 黄色の5弁花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名は地を這うように広がる。 栄養繁殖器官は根茎 【近縁在来種】ツルギムシロ、ミツバツチグリ、ヘビイチ ゴ		
キツネノマゴ	○	キツネノマゴ 科 Justicia procumbens	本州、 四国、 九州	やや湿った ところを好む	分枝形 10cm~ 40cm	一 二年 草	成長期: 4月~11月 開花期: 8月~10月	果実は長さ5 ~6mmの長楕 円形で、4個 の種子をも つ。 種子は1.5mm	種子 自動散布	枝先の穂状 花序に淡紅 紫色の唇形 花	生薬として利 用可 民間薬として 浴用剤	環境省:無 都道府県:無	花の真ん中には白い星形の模様が入っている。 花が孫狐の顔に似ている。 種子は重力散布(散布区区分では自動散布に含む) 【出芽期】4~7月 【近縁在来種】シロバナキツネノマゴ、キツネノマゴ		

種名	基本情報				緑化植物としての有用性			注意 事項	レッドリスト記 載	備考		
	草地 二次 林	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	実(種子) の外観				実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型
キヌタンウ	○	アカネ科 Galium kinuta	本州、 四国、 山地	情報なし	分枝形 30cm~ 50cm	多年草	果実は2分 果。分果は球 形。果実に1 個だけの分果 となることが 多い。	種子 自動散布	円錐塔状の 花序(集散花 序)に多数の 白色の花(径 3mmほど)	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名の由来は果実の形が布をたいて柔らかくする木づ ちの砧(きぬた)に似ていることから 【近縁在来種】ヤエムグラ、ヤマムグラ、ハナムグラ、オオ ハナムグラ、ヨツハムグラ、ヒメヨツハムグラ 他
キバナアキギリ	○	シソ科 Salvia nipponica	本州、 四国、 九州 山地	木陰	直立形 20cm~ 40cm	多年草	2mm、球形	種子 さし芽・挿し木 自動散布	黄色の唇形 花	食用(春の若 芽)としての 利用可	環境省:無 都道府県:有	園芸品のサルビアに似た花をつける。 【近縁在来種】キンキハナアキギリ、アキノタムラソウ、ナ ツノタムラソウ 他
キンミスヒキ	○	バラ科 Agrimonia japonica	北海道、 本州、 四国、 九州 低地、 丘陵	日当たりの よい林縁や 草原	分枝形 40cm~ 80cm	多年草	実はさく果で 5mm程度 長さ3mmくら いの種がたく いの種がたく さんあり、動 物などにくっ ついて散布	種子 動物散布	茎や枝先の 細長い花穂に 多数の黄色 の5弁花	食用として使 用可 薬用として利 用可	環境省:無 都道府県:有	別名「ヒツキグサ」 晩秋まで、鮮やかな黄色の花を咲かせる。 【近縁在来種】ヒメキンミスヒキ、チヨウセンキンミスヒキ
クサイ	○	イグサ科 Juncus tenuis	北海道、 本州、 四国、 九州 情報なし	やや湿った 場所	そう生形 30cm~ 60cm	多年草	種子は長さ約 0.4mm、表面に 粘液があり、 熟して朔果に 附着して残る	種子 株分け 栄養繁殖 自動散布 動物散布	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	クサイは葉が目立つの意味である。 栄養繁殖器官は根茎 種子は重力・雨滴散布(上記散布型では自動散布に含 む)、附着散布(左記散布型では動物散布に含む) 【出芽期】3~10月 【近縁外来種】アメリカクサイ 【近縁在来種】ヒメコウカイセイショウ、ドロイ、ホソイ
クサボケ	○	バラ科 Chaenomeles japonica	本州、 四国、 九州 丘陵	日当たりの 良い場所	分枝形 30cm~ 100cm	木本類	果実は直径3 ~4cmのほぼ 球形のナシ状 果 種子は硬く、 光沢がある	種子 さし芽・挿し木 根伏せ 動物散布	赤、橙色、 白、桃色など の5弁花	俳句 春の季 詠 葉草として利 用可	環境省:無 都道府県:有	別名【ジンドミ、ノボケ、コボケ】 有縁鼓が多量にある。大株は、休眠中に2~3分割して植 えつける。小さく分けると弱くなる。株分けで株が若返る。



種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト 記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
クサボタン	○	キンボウグサ科	本州	情報なし	直立形	落葉性	成長期: 4~10月 開花期: 8月~9月	瘦果は球形 の集合果(約 3mm)花柱が 長さ15~20mm の羽毛状に 長く伸びて種 髪になる	種子	風散布	枝先や葉の 腋に集散花 序 下向きの釣鐘 状の淡紫色 の花	情報なし	人体:有(全 草が有毒)	環境省:無 都道府県:有	4枚の萼が後に先が反り返る。 雌雄異株	
		Clematis stans	丘陵、 山地	100cm	多年草	多年草			自動散布							
クララ	○	マメ科	本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	直立形	落葉性	成長期: 4~10月 開花期: 6月~7月	種子は長さ4 ~5mm	種子 株分け	茎先に長さ10 ~20cmほど の総状花序 に線形をした 淡い黄色の 花	葉草として使 用	人体:大量に 摂取すると呼 吸が麻痺 農地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	根の汁をなめると、余りの苦さに、眼がクラクラする。 株分けは、花後に、子株の葉が5~6枚になってから行 う。 また、親株と近い位置で切ると、株の基部が筒状になっ て活着しなくなるので注意する。		
		Sophora flavescens	山地	80cm~ 150cm	多年草	多年草			自動散布							
クロヒナスゲ	○	カヤツリグサ 科	関東、 中部、 近畿	やや乾いた 落葉広葉樹 林下や岩塊 上	そう生形	落葉性	結実期: 4月~6月	瘦果は楕円 状3稜形。有 柄。柱頭は3 岐	種子	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	ヒカゲスゲとやや似ているが、茎や葉に突起があり、ざら ついている。 【近縁在来種】ヒカゲスゲ		
		Carex gifuensis	低地、 丘陵、 山地	20cm~ 30cm	多年草	多年草			情報なし							
ガンバイズル	○	ゴマノハグサ 科	本州	日当たりの 良い場所	つる形	落葉性	開花期: 7月~8月	朔果は平たい 倒卵状楕円 形で先がへこ み縁に線毛 が生え、長さ4 ~6mm、幅3 ~4mm	種子	淡紫色の花	情報なし	情報なし	環境省:有 (絶滅危惧II 類) 都道府県:有	茎が地を匍い、根を下ろして広がることからついた名前		
		Veronica onoei	亜高山、 高山	6cm~ 13cm	多年草	多年草			自動散布							
ケスゲ	○	カヤツリグサ 科	本州、 四国、 九州	林床	そう生形	落葉性	結実期: 4月~6月	情報なし	種子	情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	オオイトスゲに似ているが、全体的に小さい。 【近縁在来種】オオイトスゲ		
		Carex duvaliana	山地	30cm~ 50cm	多年草	多年草			情報なし							

種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活区 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
ケチチミザサ	○	イネ科	日本全土	日蔭	ほふく形 草丈	落葉性	開花期: 8月～10月	果実は長さ約 2mmの楕円 形、鈍頭、光 沢はない	種子	葉が形がサ サに似て、葉 が波打つ	情報なし	環境省:無 都道府県:無	茎や花序軸に開出する毛の多いもの、少ないものなどあ り、毛が多いものをケチチミザサ、毛の少ないものをコチ チミザサと分ける場合がある。			
		Opismenus undulatifolius	低地、 丘陵	多年草	15cm～ 30cm	動物散布	情報なし	環境省:無 都道府県:無								
ゲンシヨウコ	○	フウロソウ科	北海道、 本州、 四国、 九州	明るい野山	ほふく形	落葉性	成長期: 3～11月 開花期: 7月～10月 結実期: 10月～11月	花の後にでき る実はさく果 で、5つの球 形の種子が できる。種子 は2mm程度	種子 栄養繁殖 株分け 自動散布	俳句 季語 薬草としての 利用可	情報なし	東日本では白い花が咲き、西日本では赤い花を咲かせ ることが多い。 栄養繁殖器官は根茎 株分けは3月～10月に行う。 【出芽期】4～7月 【近縁在来種】ミツハフウロ、コフウロ				
		Geranium thunbergii	低地、 丘陵、 山地	多年草	30cm～ 50cm	種子 風散布	茎先に集散 花序 黄色い舌状 花だけの頭花	食用として使 用可 薬草として利 用可 遊びに 利用	人体:無 畑地:情報な し	秋に発生し、長楕円状の根出葉を地表に広げて越冬す る。 全体に剛毛があり、特に茎の剛毛がよく目立つのが特徴 で、触ると強くざらつく 【出芽期】10～11月						
コウヤボウキ	○	キク科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よいやや乾 燥した草地	直立形	落葉性	成長期: 11月～10月 開花期: 5月～10月	果実は瘦果。 赤褐色で横じ わがあり、羽 毛状の冠毛 がある。種子 は4mm 程度。	種子	筒状のピンク の花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	1年生の枝先にのみ、白い花をつける。 ただし、莖葉は極めて不良 【近縁在来種】ナガバノコウヤボウキ			
		Pteris hieracioides var.glabresce ns	低地、 丘陵、 山地	一・二年 草	30cm～ 80cm	風散布	種子 さし芽・挿し木	万葉集に登 場	環境省:無 都道府県:有							
コウリンカ	○	キク科	本州(関東 地方以西)、 四国、 九州	明るい場所	分枝形	落葉性	開花期: 9月～10月	瘦果は長さ約 7mm、縦肋が あり、白毛が 密生する	種子 さし芽・挿し木 風散布	オレンジ色の 花	人体:情報な し 畑地:さび病 (コヨウワマンゴ ウ等)の中間 宿主	環境省:有 (絶滅危惧Ⅱ 類) 都道府県:有	茎や葉にクモ毛(密綿毛)が多い。			
		Senecio flammeus var.glabrifolius	本州 山地	多年草	直立形 草丈	50cm	種子 株分け 情報なし	情報なし	環境省:有 都道府県:有							

種名	基本情報										緑化植物としての有用性	注意 事項	レッドリスト記 載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性				
コケリンドウ 	○	リンドウ科	本州、 四国、 九州	日の長く当 たる場所	直立形	一	開花期: 3月~6月	果実は長さ 3.5~5.5mm、 狭倒卵形~ 倒卵形。種子 は暗褐色、長 さ0.8~1mm	種子 自動散布	茎先に小さな 淡い青紫色を した筒形の花	季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	根際から生える葉は卵形で、ロゼット状につく。 【近縁在来種】フデリンドウ、ハルリンドウ
コシノホンモンズ ゲ		カヤツリグサ 科	北陸	林床	そう生形	落葉性	情報なし	情報なし	種子	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:無	ホンモンズゲの匍枝の出る変種で、主に北陸の林内に 生育する。 【近縁在来種】ホンモンズゲ、ニシノホンモンズゲ、他	
コスミシ	○	Carex stenostachys var.ikegamian a	丘陵	情報なし	情報なし	多年草	開花期: 3月~4月	情報なし	種子 その他 根伏せ	薄紫色から白 色までさまざ まな色の花 唇弁に紫色 の条	葉草としての 利用可 季語	環境省:無 都道府県:有	充実した株になると、たくさん花が寄り添って映き、そ の姿はスミレのプーケのように見える。 【近縁在来種】アリアケスミシ、ノジスミシ、アカネスミシ、 ヒメスミシ	
コナスビ 	○	スミシ科	日本全土	情報なし	そう生形	落葉性	開花期: 3月~9月 開花期: 5月~7月	蒴果は球形 でまばらに長 毛が生え、径 4~5mm。 種子は1mm、 三角形で細 かい凹凸あり	種子 栄養繁殖 株分け 自動散布	1cmに満たな い小さい黄色 い花	情報なし	環境省:無 都道府県:無	果実の形態を「茄子(なす)」に見立てた名であるが余り 似ていない。 栄養繁殖器官は葡萄茎 【出芽期】10~11月、3~5月 【近縁在来種】ミヤマコナスビ	
コバギボウシ 	○	ユリ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	そう生形	落葉性	成長期: 4月~9月 開花期: 7月~8月	蒴果は長さ約 3cm、熟すと3 裂する。種子 は黒色、長さ 約9mm、大き な翼がある	種子 株分け 情報なし	筒状鐘型の花 淡紫色の花	季語	環境省:無 都道府県:有	花は一日でしぼむ。 株分けは3年に一度ぐらいが目安。充実した株を分ける。 掘り上げた株を、一株に3個以上の芽が付くようにナイフ で切り分ける。分けた株は新芽が地面に隠れる程度の 深さに植え付ける。 【近縁在来種】ミスギボウシ	

種名	草地 二次林	基本情報						緑化植物としての有用性			留意事項	レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値			
コバノタツナミノソウ	○	シソ科	本州(関東地方以西)、四国、九州	情報なし	ほふく形	開花期: 4月~6月	果実は4分果、熟すと大きな萼の上唇が取れ下唇が残る。分果は長さ1~1.2mm突起が密	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	茎頂の花穂 に同じ方向を 向いた多数の 青紫色の花	情報なし	環境省:無 都道府県:無	タツナミノソウの変形種 補え替えと同時に、茎や地下茎が絡み合っけら4つに分けにくいので、あまり小分けにせず株を3つから4つに分割する。 6月から7月に、成長した茎を切って清潔な用土にさす。根ついたらポットに鉢上げしておく。普通のさし芽の要領でよくつく。 【近縁在来種】タツナミノソウ、オカタツナミノソウ	
		イネ科	日本全土	湿った場所	ほふく形	開花期: 9月~10月	果実(穎果) は長さ約3mmの細い棒状、下半部が紫色を帯びる	種子 情報なし	—	情報なし	環境省:無 都道府県:無	八丈島では全草を煎じて染めたものを黄八丈と呼ぶ。 【出芽期】5~6月	
ササガヤ	○	イネ科	北海道、本州、四国、九州	半日陰	ほふく形	開花期: 9月~12月	果実は長さ2.1~2.3mmの長楕円形、淡褐色	種子 自動散布	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	やや群生する。 種子は重力散布(散布型区分では自動散布に含む) 【出芽期】4~7月 【近縁在来種】キタササガヤ、ミヤマササガヤ、オオササガヤ	
		Microstegium japonicum	情報なし	明るい場所	20cm~70cm	開花期: 5~6月	果実は直径1.2cmの球形で赤く熟す	種子 株分け 動物散布	短い枝の先に 約2cmの白又は淡紅色の花 赤く熟す実	人体:刺有り 農地:情報なし	環境省:有 (絶滅危惧II類) 都道府県:有	栄養繁殖器官は根	
サルマメ	○	ユリ科	本州	情報なし	分枝形	開花期: 5月	情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	特になし		
		Smilax biflora var. trinervula	情報なし	10cm~50cm	木本類	木本類	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有		

種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト 記載	備考
	草 地	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活 上の価値					
シジウド	○	ゼリ科	本州、 四国、 九州	やや湿った 日当たりの よいところ	直立形 100cm～ 200cm	多年草	開花期: 8月～7月	果実は長さ7 ～9mm、幅5～ 7mm。 翼は広く、2個 に分果し、向 き合ってつく。	種子 風散布	茎先に複数の の散形花序 に小さな白い 花	情報なし	環境省・無 都道府県・有	ウドに似ているが、強剛なので、イボジンが食うのにウド と見て名づけられたといわれる。 【近縁在来種】ハナウド、オオハナウド		
シハイスミレ	○	スミレ科	本州(中部 地方以西)、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	そう生形 3cm～ 8cm	多年草	開花期: 3月～5月	情報なし	種子 自動散布	淡紅紫色から 濃紅紫色の 花	情報なし	環境省・無 都道府県・有	和名の由来は、葉の裏が紫色を帯びることから 【近縁在来種】マキノスミレ、ヒナスミレ		
シバスゲ	○	カヤツリグサ 科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい乾いた 場所	そう生形 10cm～ 30cm	多年草	開花期: 4月～5月	果実は長さ約 1.8mm、3稜形	種子 株分け 自動散布	—	情報なし	環境省・無 都道府県・有	穂莖は短く、横に這う。 匍枝を出し、広がり、疎生する。 【近縁在来種】チャシバスゲ、カミカワスゲ		
シヤジクソウ	○	マメ科	北海道、 本州(長野 県、群馬県、 宮城県)	乾いた場所	そう生形 15cm～ 50cm	多年草	開花期: 6月～8月	果実は4分 果。分果は長 さ2～7mm	種子 株分け 自動散布	葉の脇から出 す花柄に5～ 6個の淡紅色 の蝶形花	情報なし	環境省・無 都道府県・有	「車軸草」の名前は、葉が車輪の軸のように付くため。 夏の高原を彩る代表植物の一つ 株分けは春か秋に行う。 【近縁在来種】キンリョウソウ、アキノキンリョウソウ		
シラヤマギク	○	キク科	北海道、 本州、 四国、 九州	湿性の低い 場所からや や乾燥した 場所	直立形 100cm～ 150cm	多年草	開花期: 8月～10月	瘦果は長さ 2.5～3(4)mm、 冠毛は褐色を 帯び、長さ3.5 ～4.2mm	種子 株分け 刈り取り残渣 風散布	白色の花	人体:無 畑地:さび病 (アカマツノク ロマツ)の中 間宿主	環境省・無 都道府県・有	別名【ムコナ(罂粟)】 花が白色で山に生える菊であることから「シラヤマギク」と 名付けられた。 株分けは2月から3月の芽出し直前に行う。長い地下茎を 半分か1/3ほどに切っても良い。古い根株は弱い芽しか ないので切り捨てて整理する。 挿し木は、5月から6月によく伸びている新芽を切り取り、 清潔な用土にさす。		

種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性	注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	親 観賞性	文化・生活上 の価値				
シロヨメナ	二次 林	キク科	本州、 四国、 九州	半陰地の林 内・林縁	直立形	落葉性	開花期： 9月～11月	果実は長さ2 ～3mm、冠毛 の長さ3～4mm	種子 株分け さし芽・挿し木 風散布	茎の頂に白 色の花	万葉集に登 場。季語 食用に使用 可能	人体：無 畑地：さび病 (アガマツク ロマツ)の中 間宿主	環境省：無 都道府県：有	秋の林縁を白く影る野菊 株分けは2月から3月の芽出し直前に行う。長い地下茎を 半分か1/3ほどに切っても良い。古い親株は弱い芽しか ないので切り捨てて整理する。 挿し木は5月から6月に、よく伸びている新芽を切り取り、 清潔な用土にさす。 【近縁在来種】カントウヨメナ、ユウガギク、ノコンギク、シ ラヤマギク、リュウノギク、シオン	
	○	Aster ageratoides ssp. leiophyllu s	情報なし		30cm～ 100cm	多年草									
スイバ	○	タデ科	北海道、 本州、 四国、 九州	比較的湿性 の低い場所	直立形	落葉性	開花期： 4～6月	果期に内花 被がうちわの ようになり て、果実を包む。 種子は3稜形 の瘦果(約2 mm)。黒褐色 で光沢	種子 栄養繁殖 株分け 自動散布	雌花は赤い 花柱	食用として使 用可能 薬草として利 用可能 季語	人体：有(かぶ れる場合が ある) 花粉症の原 因のアレルゲ ン	環境省：無 都道府県：無	別名[すかんばん] 雌雄異株 栄養繁殖器官は相 種子は重力散布(散布型区分では自動散布に含む) 【近縁在来種】ヒメスイバ、アレチギンギン 【近縁在来種】ギンギン、ナガバギンギン	
	○	Rumex acetosa	低地、 丘陵		30cm～ 100cm	多年草									
スズサイコ	○	ガガイモ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	直立形	落葉性	開花期： 6月～7月	袋果は細長 く、長さ約5cm	種子 刈り取り残渣 風散布	葉腋からの花 序に直径1～ 2cmの黄褐色 の花	情報なし	情報なし	環境省：有 (準絶滅危 惧) 都道府県：有	日中には花は閉じている。 【近縁在来種】フナバラソウ タチカモメヅル、クサタチバ ナ、クサナギオコケ、コハノカモメヅル、コカモメヅル	
	○	Vincetoxicum pycnostelma	丘陵、 山地		40cm～ 80cm	多年草									
スズメノカタビラ	○	イネ科	日本全土	湿った所	そう生形	—	成長期： 10月～7月 開花期： 3月～6月	護穎の長さは 3mm 穎果は長さ約 1.5mmの披針 形。淡褐色	種子 情報なし	—	情報なし	人体：無 畑地：害草 (強)	環境省：無 都道府県：有	どこでも見られる雑草。 小さな体を利用してあらゆる所に出現 【出芽期】10～11月、3～5月 【近縁在来種】アオスズメノカタビラ 【近縁在来種】ツクシスズメノカタビラ	
	○	Poa annua	情報なし		10cm～ 15cm	一・二年 草									
スズメノチャヒキ	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	情報なし	直立形	—	開花期： 5月～7月	果実は扁平、 長さ6～7mm、 先端に毛があ る	種子 自動散布	—	情報なし	情報なし	環境省：無 都道府県：有	北アメリカ、オーストラリア、ニュージーランドなどに帰化 種子は重力散布(左記散布型では自動散布に含む) 【出芽期】9～11月 【近縁在来種】カラスノチャヒキ、ハマチャヒキ	
	○	Bromus japonicus	情報なし		30cm～ 70cm	一・二年 草									




種名	基本情報										レッドリスト記載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	親感性	文化・生活上 の価値		
スズメノヒエ	○	イネ科 Paspalum thunbergii	本州、四国、九州、沖縄 低地、丘陵、山地	日当たりの良い場所	そう生形 40cm~90cm	多年草	開花期: 7月~10月	果実は円形、腹面は扁平、乳白色、径2mm	—	情報なし	環境省:無 都道府県:無	雀の食べるヒエになぞらえたものとしている。 栄養繁殖器官は根茎 種子は重力散布(左記散布型では自動散布を含む) 【出芽期】4~7月 【近縁外来種】アメリカスズメノヒエ 【近縁在来種】スズメノゴビエ、ナガバスズメノヒエ
スズメノヤリ	○	イグサ科 Luzula capitata	日本全土 低地、丘陵	乾いた場所	そう生形 10cm~45cm	多年草	成長期: 3月~9月 開花期: 3月~5月	種子は長さ1.1~1.2mm、熟すと頭部の方から黒褐色になる	4~5個の小さな花が密に集まった径1cm前後の球形の頭花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	この属の植物は60~80種あるとされる。 日本に約十種ある。 栄養繁殖器官は根茎 種子はアリ散布の他、重力散布(左記散布型では自動散布を含む) 【出芽期】9~10月
スズラン	○	ユリ科 Convallaria keiskei	北海道、本州、九州 山地、亜高山	半日陰で、水はけのよい土壌	直立形 20cm~30cm	多年草	成長期: 4月~8月 開花期: 5月~6月	実(球根)は赤く熟す	芳香のある「鈴」のような白い花 オレンジ色の実	観賞用・香水等に利用 俳句 初夏の季語	環境省:無 都道府県:有	別名【君影草(キミカゲソウ)】 鈴のような白花を十数個下垂して咲かせる。 芳香があり、香水の原料にもなる。 10月中旬~11月下旬、または3月の休眠期に地下茎を4~5芽くらいに切って株分けする。 【生育特性】 ・耐乾燥性:普通~強い ・耐陰性:有 ・耐暑性:普通~強い ・耐寒性:強い
スミレ	○	スミレ科 Viola mandshurica	北海道、本州、四国、九州 丘陵、山地	日当たりのよいところ	そう生形 10cm~15cm	多年草	成長期: 2~6月 開花期: 3月~6月 結実期: 5~10月	実(さく果)は倒卵形で、茶褐色~黒色、長さ約1.5~1.8mm	濃い紫色の可憐な花	春の季語 遊園栽培 遊園地に利用 食用 可 万葉集に登場 築山園芸に掲載	環境省:無 都道府県:有	花の形が大工道具の墨入れに似ていることから「スミレ」と名付けられた。 栄養繁殖器官は根茎 【生育特性】 ・耐暑性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】シロスミレ、アリアケスミレ、ヒメスミレ、ノジスミレ
センニンソウ	○	キンポウゲ科 Clematis terniflora	日本全土 丘陵、山地	日当たりのよい場所	つる形 —	常緑性 木本類	成長期: 4~10月 開花期: 8月~9月 結実期: 10~12月	瘦果は扁平で花柱が伸びた白い羽毛状の毛をつける	円錐花序に白色の花	薬草(葉と根)として利用可	環境省:無 都道府県:有	種子につく白い長い毛の集まりを仙人のヒゲにたとえたのが名前の由来という説が一般的 【近縁在来種】ポタンヅル、コポタンヅル



種名	基本情報										緑化植物としての有用性			注意 事項	レッドリスト 記載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地形	生育環境 生育場所	生育形 草丈	生活史 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値						
センボンヤリ	○	キク科	日本全土	日当たりの よい場所	ロゼット形 草丈	成長期: 4月~11月 開花期: 4月	7mm、冠毛を 含めた長さ17 mm	種子 散佈型	春は白い頭 花、秋は閉鎖 花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	先端につく閉鎖花を大名行列の千本輪に見立てた名前			
タカトウダイ	○	トウダイグサ 科	本州、 四国、 九州	日当たりの 良い草地	直立形 草丈	成長期: 4~3月 開花期: 6月~7月	蒴果は長さ 4.5mm、幅4- 4.5mmの球 形。種子は長 さ2mm、幅1.5- 2mmの広楕円 形。暗褐色、 わずかに光沢	種子 自動散佈	壺形の蒼緑 色の杯状花 序 葉は秋に全 体が紅葉	情報なし	人体:毒性あ り 農地:情報な し	ポインセチアの仲間 【近縁在来種】シナノタイゲキ、ハクサンタイゲキ、イブキタ イゲキ、トウタカトウダイ				
タガネソウ	○	カヤツリグサ 科	北海道、 本州、 四国、 九州	林床	そう生形 草丈	結実期: 4月~5月	蒴果は密に 果胞に包まれ 楕円形。長さ 2.5-3mm、幅 1.1~1.4mmで 鈍3稜形。褐 色~紫褐色 で光沢あり	種子 自動散佈	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	スゲとしては幅の広い葉形を観治屋の使うたがねに見立 て、和名の由来となった。 【近縁在来種】タガネソウ、ササノハスゲ				
タチコメグサ	○	ゴマノハグサ 科	本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	直立形 草丈	開花期: 8月~10月	果実は長さ4 ~5mm、中に 10数個の種 子が入る	種子 自動散佈	無柄の小さな 花 花冠は白色 で紫のすじ	情報なし	環境省:無 都道府県:有	自分でも光合成をし、他の植物に寄生する半寄生植物 【近縁在来種】ミヤマコメグサ、トガクソコメグサ				
タチソゴデ	○	ユリ科	本州、 四国、 九州	情報なし	つる形 草丈	開花期: 5月~6月	果実は直径6 ~7mm、球形 の液果、粉白 を帯び、黒く 熟す。種子は 赤色	種子 情報なし	黒い実	情報なし	環境省:無 都道府県:有	雌雄異株 【近縁在来種】シオデ、ホソバタチシオデ				



種名	基本情報										レトリスト記載	備考	
	草名	科名	自然分布	生育環境	生育形	生活史	実(種子)の外観	繁殖方法	観賞性	緑化植物としての有用性			注意
タチツボスミシ	○	スミシ科	日本全土	日当たりの良い場所	そう生形	成長期: 3~9月 開花期: 2月~5月	開いた殻の長さ1~2cmほどで、種は1mm以下	種子 株分け さし芽・挿し木 栄養繁殖	淡い紫色の花	観賞用栽培に利用可能ではないが食用として使用可能。野菜等に「つぼすみれ」が採われる。	人体: 無し 畑地: 情報なし	環境省: 無し 都道府県: 無し	日本を代表するスミシ。栄養繁殖器官は根莖。株が自然に分かれる部分で分けて植える。6月~7月、明るい日影で土が乾かないように管理。 【種子の保存性】冷蔵庫で1~2か月間、湿らせた川砂と混ぜて保管(低温湿潤処理) 【生育特性】・耐暑性: 強い ・耐寒性: 強い 【近縁在来種】ナガハタツボスミシ、ニオイタチツボスミシ、ケイリュウエウタツボスミシ、ツヤスミシ、オオタチツボスミシ、ツルタチツボスミシ
	○	<i>Viola grypoceras</i>	低地、丘陵		5cm~15cm	多年草		自動散布 アリ散布					
タムラソウ	○	キク科	本州、四国、九州	日当たりのよい場所	直立形	開花期: 8月~10月	瘦果は長さ約6mmの円柱形。冠毛は淡褐色、長さ約12mm	種子 株分け	茎先に紅紫色の頭花筒状花だけで構成	俳句 初秋の季語	情報なし	環境省: 無し 都道府県: 有り	日本に自生するのは1種のみ 3月の植え替えで株分けするが、古い株よりも若い株を優先的に選び、これを肥培したほうがよい花が見られる。
	○	<i>Serratula coronata</i> <i>ssp. insularis</i>	山地		50cm~150cm	多年草		風散布					
チゴユリ	○	ユリ科	北海道、本州、四国、九州	常にある程度の湿り気のある場所	直立形	開花期: 4月~5月	液果は7~10mm、黒青色に熟す。種子は果実に入り、長さ約4mmの卵形~球形	種子 株分け	下向きに咲く 白い花 黒い実	情報なし	情報なし	環境省: 無し 都道府県: 有り	小さな花を穂周りにとえられた名前 親株は細い地下茎を伸ばして3~5芽にふえる。親株と地下茎は休眠中に枯れてなくなるので、植え替えれば自然に株分けことになる。 【近縁在来種】エダウチチゴユリ、ホウチヤクソウ
	○	<i>Disporum smilacinum</i>	丘陵、山地		15cm~30cm	多年草		情報なし					
チダケサシ	○	ユキノシタ科	本州、四国、九州	日の当たるところ	直立形	開花期: 6~8月	情報なし	情報なし	円錐花序に多数の紫紅色の花	情報なし	情報なし	環境省: 無し 都道府県: 有り	しばしば、花屋さんに「アスチルベ」として販売されている花 【近縁在来種】ハナチダケサシ、アカシヨウマ、トリアシヨウマ
	○	<i>Astilbe microphylla</i>	情報なし		40cm~80cm	多年草		情報なし					
チチゴグサ	○	キク科	日本全土	日当たりの良い場所	直立形	開花期: 4月~10月 結実期: 5月~9月	瘦果は長さ0.8~1.0mm、表面に乳頭状突起有。長さ約3mmの冠毛が1列につき。冠毛の基部は離性。	種子 栄養繁殖 株分け	茎の頂に茶褐色の頭花	俳句 晩春の季語	人体: 無し 畑地: 雲草(小)	環境省: 無し 都道府県: 無し	雑草、全体に色みが少ない。 栄養繁殖器官は匍匐茎 【出芽期】9~11月 【近縁在来種】チチゴグサモドキ、ウラジロチチゴグサ、ウスベニチチゴグサ、チチチチゴグサ
		<i>Gnaphalium japonicum</i>	低地		5cm~30cm	多年草		風散布					

種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト 記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
チヨウセンガンガリヤス	○	イネ科 Cleistogenes hackellii	北海道から 九州	乾燥した場 所	そう生形 30cm~ 60cm	落葉性 多年草	開花期: 8月~9月	果実は披披 針形、鈍頭、 乳白色、長さ 4mm	種子 情報なし	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	海岸の乾燥した岩場に生育する。		
ツクシハギ	○	マメ科 Lespedeza homoloba	本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	分枝形 200cm~ 400cm	落葉性 木本類	開花期: 8月~10月	豆果は長さ 8mmの広倒 卵形で伏毛 がある	種子 自動散布	枝先の葉の 脇の総状花 序に多数の 淡紅紫色の 蝶形花 葉は紅葉(黄 色)	季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	福岡県で最初に見つけられた。		
ツボクサ	○	ゼリ科 Centella asiatica	本州(関東 以西)、 四国、 九州、沖縄	湿った場所	ほふく形 20cm	落葉性 多年草	成長期: 3~10月 開花期: 6月~8月	果実は緑色 で堅く、中央 がくびれる。 長さは2~ 3mm、幅3~ 4mmで毛はな い	種子 株分け 自動散布	暗紫色の花 弁の花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	茎は地面を這い、節より根を出す。 種子は重力散布(散布型区分では自動散布を含む) 栄養繁殖器官は根 【近縁在来種】チドメグサ、ノチドメ、オオチドメ:			
ツメクサ	○	ナデシコ科 Sagina japonica	日本全土 低地、 丘陵	やや湿った 場所	そう生形 2cm~ 20cm	— 一・二年 草	開花期: 4~7月	種子は広卵 形でこまかい とがった突起 がある	種子 自動散布	白い5弁花	情報なし	環境省:無 都道府県:無	和名は葉の形が鳥の爪に似ていることによる。 種子は重力散布(散布型区分では自動散布を含む) 【出芽期】9~6月			
ツユクサ	○	ツユクサ科 Commelina communis	日本全土 情報なし	やや湿った 空き地や道 はた	ほふく形 20cm~ 50cm	— 一・二年 草	成長期: 3月~10月 開花期: 6月~9月	種子は3mm 程度	種子 株分け 自動散布	鮮やかな青 色の花	食用としての 使用可 食物種類鑑 賞に掲載 俳句 初秋の季語 万葉集に登 場	人体:無 畑地:夏作物 の強草	環境省:無 都道府県:有	別名「アオハバナ」「ホウシバナ」。花の色は水洗いすると溶 けて流れることから、以前は染物の下絵を描く時に使わ れた。 種子は重力散布(左記散布型では自動散布を含む) 【出芽期】4~7月 【近縁在来種】ケツユクサ オニツユクサ、ヒメオニツユク サ ウスイロツユクサ		

種名	草地 二次 林	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	親感性	文化・生活上 の価値	人体:情報な し	環境省:有 (絶滅危惧II 類)			
ツリガネニンジン 	○	キキョウ科	日本全土	風通しの良 い日なた～ 半日陰	直立形	草丈 30cm～ 90cm	多年草	落葉性	成長期: 4～10月 開花期: 8月～10月	種子は1.3mm 程度片側に 狭い翼がある	種子 株分け さし芽・挿し木 刈り取り残渣 自動散布	円錐花序に 青紫色の釣 鐘状花	食用として使 用可 薬用と して利用可 俳句 初秋の 季語	人体:情報な し 畑地:さび病 (アカマツノク ロマツ)の中 間宿主	環境省:有 (絶滅危惧II 類) 都道府県:有	別名「トトキ」 花を釣り鐘に、太い根を高麗人参の根に見立てて名付け られた。 梅雨期の6月～7月初旬が適期 【種子の保存性】冷蔵保存可(期間不明) 【近縁在来種】シロハヤツリガネニンジン、ハウサンジャジン ン、サイヨウウシヤジン、フクシマシヤジン
		Adenophora triphylla var. japonica	低地、 丘陵、 山地	情報なし	つる形	200cm～	多年草	落葉性	開花期: 9月～10月	種子は淡褐 色、大きな翼 があり、翼も 含めた長さ約 5mm	種子 風散布	広鐘形の緑 色の花。内側 は紫褐色	若芽、若葉と 根を食用とし て使用可 根を生薬とし て利用可	人体:無 畑地:さび病 (アカマツノク ロマツ)の中 間宿主	環境省:無 都道府県:有	白くて太い根が朝鮮人参に似ている。 【近縁在来種】シブカワニンジン、ハアソブ
ツルボ 	○	ユリ科	日本全土	日当たりの よいところ	直立形	10cm～ 25cm	多年草	落葉性	成長期: 4月～3月 開花期: 8月～9月	実はさく果 種子は3.5mm 程度	種子 刈り取り残渣 分球 自動散布	花茎先端の 総状花序に 密に淡紅紫 色の花	薬草として利 用可(外用) 救荒植物(飢 饉の際に食 糧となる糧 物)として利 用可	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	別名「参内倉(サンダイガサ)」 春と秋の2回葉を出す
		Scilla scilloides	山地	木陰	つる形	40cm～ 80cm	多年草	落葉性	成長期: 4月～11月 開花期: 8月～10月	種子は長さ約 2mm、狭い翼 がある。果実 が裂開したよ うに見えるも のがあった	種子 株分け さし芽・挿し木 風散布	葉の腋に淡 紫色の花 葉の裏に淡 紅紫色の裏	季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	花はあまり目立たないが、果実が非常によく目立つ。 【近縁在来種】ホンソウリンドウ
テイカカズラ 	○	キョウチクトウ科	本州、 四国、 九州	温暖な場所	つる形	—	常緑性	成長期: 4月～10月 開花期: 5月～6月	種子は長さ15 ～25mmの線 形、先端に長 い種髪(冠毛) 状の長毛)が ある	種子 さし芽・挿し木 風散布	葉腋や枝先 に房状(集散 花序)にスク リュー型の多 数の白い花。 芳香あり	情報なし	人体:薬、枝 に毒性、樹液 はかぶれ 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	花つきもよく丈夫 6月上旬から8月上旬にさし木でふやす。その年に出た枝 に葉を2～3枚つけて長さ10cmほどで切り、30分ほど水あ けて、赤玉土小粒・鹿沼土、さし木用土などにさす。 【近縁在来種】チヨウセンテイカカズラ、チヨウジカズラ、サ カキカズラ	
		Trachelospermum asiaticum f. intermedium	山地	—	木本類	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—


種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性		注意事項	レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
テリハノイバラ 	○	バラ科	本州、 四国、 九州、 沖縄	日当たりの 良い場所	ほふく形	落葉性	成長期: 4~9月 開花期: 6~7月	種子5mm 果実 は直径約7mm の球形	種子、株分け さし芽・挿し 木、取り木、 その他	枝先に白い5 弁花 赤い実 がある	俳句 季語 ハナノイバラの 中にふくまれ ていた可能性 がある	人体:刺有り 農地:情報な し	環境省:無 都道府県:無	草に隠れるように地面を這いまわる。 挿し木:取り木の方がやりやすい。 栄養繁殖器官は根 【近縁在来種】ノイバラ、ヤマテリハノイバラ、オオアジイバ ラ、ミヤコイバラ、ミヤコイバラ、ヤブイバラ、ヤマイバラ、モ リイバラ、フジイバラ		
	○	Rosa wichuraiana	低地、丘陵、 山地、 亜高山、 高山	—	木本類	—	—	動物散布	—	情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名の由来は小穂が上向きで、天を突き意味からとする 説と、小穂で点をつける点つきという説がある。 【近縁在来種】グテラツツキ		
テンツツキ	○	カヤツリグサ 科	日本全土	やや通った 草地	そう生形	—	開花期: 7月~10月	果実の長さ 0.7~1.2mm、広 倒卵形、断面 はレンズ形。 表面に細かい 格子紋あり。 熟した後、栗 褐色	種子 情報なし	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名の由来は小穂が上向きで、天を突き意味からとする 説と、小穂で点をつける点つきという説がある。 【近縁在来種】グテラツツキ			
トダンバ 	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの 良い草地	そう生形	落葉性	開花期: 6月~10月	果実は長さ 1.8~2mm、暗 灰色~暗褐色	種子 刈り取り残査 自動散布	—	情報なし	環境省:無 都道府県:無	埼玉県 <small>の</small> 戸田原に多かつたことからこの名がついた。 まどいに下げた細紐に花穂が似ている。 【種子の保存性】7年間の常温保存が可能 【近縁在来種】ケトダンバ、ミギワトダンバ			
	○	Arundinella hirta	低地、 丘陵、 山地	—	多年草	30cm~ 120cm	—	—	—	—	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	小柄な草で、無毛 【近縁在来種】イブキトダンバ、ヤマトダンバ、タカネン モンモ		
トリアジショウマ	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	半日陰	そう生形	落葉性	開花期: 5月~6月	果実は長さ約 3mmの長楕円 形、紫褐色、 腹面が溝状 に窪み、頭部 に毛がある	種子 情報なし	—	情報なし	環境省:無 都道府県:有	名の由来は、若芽が鳥(とり)の足を締めたとよに見える から 株分けによってふやす。 【近縁在来種】アキショウマ、ミカワショウマ			
○	Festuca parvigluma	丘陵	—	多年草	30cm~ 60cm	—	—	—	—	—	—	環境省:無 都道府県:有	—			
○	ユキノシタ科	北海道、 本州	半日陰の場 所	落葉性	分枝形	—	開花期: 7~8月	種子は片側 に4~5個人 り、長さ約2 mm、褐色	種子 株分け 自動散布	茎先に円錐 花序に小さな 白い花	食用として使 用可 薬草として利 用可	人体:無 農地:情報な し	—			
○	Astilbe thunbergii var.congesta	山地、 亜高山	—	多年草	40cm~ 100cm	—	—	—	—	—	—	—	—			

種名	草地 二次林	基本情報							緑化植物としての有用性			注意 事項	レッドリスト 記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値				
ナキリスゲ	○	カヤツリグサ 科 Carex lenta	本州、 四国、 九州 低地、 丘陵、 山地	林床や林縁	そう生形 40cm～ 80cm	多年草	開花期： 8月～10月 結実期： 8月～10月	瘦果は卵形、 長さ2～ 2.3mm、断面 はレンズ形で こげ茶色～黒 色で光沢あり	種子 情報なし	情報なし	情報なし	環境省：無 都道府県：有	和名は、葉がざらざらしていて、葉も切れるこの意味 【近縁在来種】コゴメスゲ、オオナキリスゲ	
ナツトウダイ	○	トウダイグサ 科 Euphorbia sieboldiana	北海道、 本州、 四国、 九州 丘陵、 山地	湿った場所	直立形 40cm～	多年草	開花期： 4月～5月	種子は広卵 形、平滑	種子 さし芽・挿し木 自動散布	杯状の暗赤 色の花	情報なし	環境省：無 都道府県：有	クワガタムシの角のような不思議な形の腺体を持つ。 挿し芽には頂芽を利用。切り口から出る白い乳液をよく洗 い流してから、パターライトや鹿沼土などにさす。 【近縁在来種】タカトウダイ、トウダイグサ	
ナルコユリ	○	ユリ科 Polygonatum falcatum	本州、 四国、 九州 山地	情報なし	直立形 50cm～ 90cm	多年草	成長期： 3月～9月 開花期： 5月～6月	3mm 液果は直 径0.7～1cm で黒紫色に熟 す	種子 株分け 動物散布	小さなベルを 並べたような 筒状の白い 花冠の先は 緑色	薬草として利 用可	環境省：無 都道府県：有	葉のわきに緑白色の筒状の花が2～5個垂れ下がる様子 がベルを並べたようこの名がつけられた。 適期は早春の芽出し前か、秋の落葉後。根茎は枝分か れしてふえるので、分かれたつけ根のところで切り分け る。 【近縁在来種】アマドコロ	
ナフシロイチゴ	○	バラ科 Rubus parvifolius	日本全土 低地、 丘陵	日当たりの いいところ	ほふく形 5cm～ 30cm	落葉性 木本類	成長期： 3～9月 開花期： 5～6月 結実期： 6～8月	実は数粒の 核果からなる 球形の集合 果(1～ 1.5cm)で、橙 色から暗い紅 色に熟す	種子 株分け 動物散布	枝先や葉の 脇から集散花 序 花径1～2cm のの桃色の 花 橙色から暗い 紅色の果	果実を食用と して使用可 俳句 春の季語	環境省：無 都道府県：無	別名【草月莓(サツキイチゴ)】 苗作を作る頃に熟す。茎は木質化し棘がある。 栄養繁殖器官は根。 【近縁在来種】ウラジロイチゴ(エビガライチゴ)	
ナンテンハギ	○	マメ科 Vicia unijuga	北海道、 本州、 四国、 九州 山地、 丘陵	日当たりの 良い所	直立形 30cm～ 90cm	多年草	開花期： 6月～10月	豆果は長さ約 3cm、無毛	種子 刈り取り残渣 自動散布	葉腋に多数 の紅紫色の 蝶形花	食用(若芽・ 蕾・花)として 使用可	環境省：無 都道府県：有	ナンテンの葉に似ていることから名がつけられた。 【近縁在来種】ヨツバハギ、オオバクサフジ	

種名	草地 二次林	基本情報										レッドリスト記載	備考		
		科名 学名	自然分布 地形		生育環境 日当たりの よい場所	生育形 草丈	生活史 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法		緑化植物としての有用性			注意 事項	
			種名	地帯					種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値				
ニガナ	○	キク科	北海道、 本州、 四国、 九州	低地、 丘陵、 山地	日当たりの よい場所	直立形 20cm~ 50cm	落葉性 多年草	開花期： 4月~6月	実は瘦果で 長さ~4.5 mm、長い喙が ある。冠毛は 褐色を帯び、 長さ約4mm	種子 栄養繁殖 株分け	風散布	人体:情報なし し 畑地:害草 (小)	葉や茎からでる乳液から「チチグサ」の別名を持つ 栄養繁殖器官は根茎 【出芽期】3~11月 【近縁在来種】シロニガナ、ハナニガナ、シロハナニガナ		
			ixeris dentata							種子	情報なし			情報なし	スカボ属には似たものが多数あり未だにしっかりと見極め ができない。 【近縁在来種】ヤマスカボ
ヌカボ	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州、沖縄	低地、 丘陵、 山地	湿った場所 からいたると ころ	そう生形 30cm~ 70cm	落葉性 一・二年 草	開花期： 5月~6月	果実(穎果) は長さ0.9~ 1.1(実測)1~ 1.1)mmの乳褐 色、腹部が窪 む	種子	情報なし	情報なし	スカボ属には似たものが多数あり未だにしっかりと見極め ができない。 【近縁在来種】ヤマスカボ		
			Agrostis elevata ssp.matsumur ae							種子	情報なし			情報なし	
ヌスビトハギ	○	マメ科	日本全土	低地、 丘陵、 山地	やや湿った 土地	分枝形 90cm	落葉性 多年草	成実期： 4~10月 開花期： 8月~9月 結実期： 10~1月	小蒴果は長さ 5~7mmの半 月型。表面に かき状の毛 が密生。種子 も半月型で扁 平、長さ4~ 5mm	種子 栄養繁殖 株分け 刈り取り残渣	動物散布	情報なし	果実を盗人の足あとに見立ててこの名がついた。 栄養繁殖器官は根茎 【出芽期】4~6月 【近縁在来種】マルバヌスビトハギ、ヤブハギ、アレチヌス ビトハギ		
			Desmodium podocarpum ssp.oxiphyllu m							種子	自動散布			情報なし	
ネコハギ	○	マメ科	日本全土	低地、 丘陵、 山地	日当たりの 良い場所	ほふく形 30cm~ 60cm	落葉性 多年草	開花期： 8月~9月	果実は長さ 3.5~4.5mm、 種子が1個入 る。種子は長 さ1.9~3mm	種子 栄養繁殖 株分け 刈り取り残渣	自動散布	情報なし	地面を匍匐するハギ属の仲間。犬萩に対してこの名がつ いた。栄養繁殖器官は根茎 種子は重力散布(左記では自動散布を含む) 【出芽期】4~6月		
			Lespedeza pilosa							種子	自動散布			情報なし	
ネジバナ	○	ラン科	北海道、 本州、 四国、 九州	低地、 丘陵、 山地、 亜高山	日当たり、風 通しの良い 場所	直立形 15cm~ 40cm	落葉性 多年草	開花期： 6月~7月	実はさく果(熟 すると下部が 裂け、種子が 散布される果 実)	種子 株分け 栄養繁殖	風散布	情報なし	ユニークな花姿をしたランの仲間。右巻き、左巻きの両方 がある。途中で巻き方が変わるものもある。 栄養繁殖器官は塊根。 夏の終わりごろに新芽を1~3本つけて株を分ける。自然 に分かれている部分で分ける。 【出芽期】5~6月 【生育特性】 ・耐暑性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】シロハナモジズリ		
			Spiranthes sinensis var.amoena							種子	風散布			情報なし	



種名	草 地		基本情報										緑化植物としての有用性		レッドリスト記載	備考
	二次林	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値	注意事項	環境省:無 都道府県:有			
ネズミガヤ	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	情報なし	そう生形	落葉性	開花期: 9月~10月	果実は暗褐色、長さ1.8~2mm	種子 散布型	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	全体に弱々しい。 【近縁在来種】コネズミガヤ、オオネズミガヤ、キダチノネズミガヤ他		
		Muhlenbergia japonica	低地		15cm~ 30cm	多年草		情報なし	情報なし							
ネバリノギラン	○	ユリ科	本州(関東 地方以西)、 四国、 九州、沖縄	湿り気のあ る隙地	直立形	落葉性	開花期: 6月~8月	蒴果で、長さ 約5mmの楕円 形	種子	茎先の総状 花序に淡黄 緑色から黄褐 色の多数の 小さな花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	先がやや開くだけであまり開かず、ノギランよりかなり地味な花 【近縁在来種】ノギラン		
		Aletris foliata	丘陵、 山地、 亜高山、 高山		10cm~ 25cm	多年草		情報なし	情報なし							
ノアザミ	○	キク科	本州、 四国、 九州	日当たりの よい草地	ロゼット形	落葉性	開花期: 5月~7月 結実期: 5月~9月	瘦果は長さ約 3mm、無毛。冠 毛は長さ約 1.5cm、羽毛 状に枝分か れし、基部は 合着する。	種子 刈り取り残査 風散布	枝先に赤紫 色の頭花	食用として利 用可 觀賞用栽培 薬草として利 用可 季節	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	アザミの仲間には珍しく、春から初夏に花をつける。 花の首の部分がおねほねしているのも特徴 株分けは植え替える際に自然に分かれる部分を外す か、根をつけて切り分けられる部分で分ける。切り口は炭 の粉で覆う。 【出芽期】9~10月 【生育特性】 ・耐暑性:強い・耐寒性:強い ・近縁在来種】ノハラアザミ		
		Cirsium japonicum	低地、 丘陵、 山地、 亜高山、 高山		60cm~ 100cm	多年草										
ノイバラ	○	バラ科	北海道、 本州、 四国、 九州	海岸から高 山の川原、 草地	直立形	落葉性	成長期: 4~9月 開花期: 5~6月 結実期: 9~11月	瘦果は長さ約 4mm、偽果に5 ~12個入る	種子 さし芽・挿し木 動物散布	白い弁花 赤い実	葉用として利 用可 俳句 初夏の 季節 万葉集 に登場	人体:激しい 作用のため、 多量の利用 や子供への 利用は避け る。刺あり 農地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	香料にもなる高い芳香の花が咲く。 園芸用のバラの台木として広く利用 【近縁在来種】テリハノイバラ、オオアザミバラ、モリイバラ、フジイバラ、ミヤコイバラ、ヤブイバラ、ヤマイバラ		
		Rosa multiflora	丘陵、 山地		200cm	木本類										
ノガリヤス	○	イネ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	そう生形	落葉性	開花期: 8月~10月	果実は長さ 1.8~2mm、乳 白色~褐色、 無光沢	種子 刈り取り残査 風散布	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	果実が乳白色で柔らかいうちに落ちる小穂が多く、乾くと褐色になる。 【近縁在来種】コバナノガリヤス、タンロノガリヤス、ミヤマノガリヤス		
		Calamagrostis arundinacea var. brachytricha	丘陵、 山地		60cm~ 150cm	多年草										



種名	草 地		基本情報										注意 事項	レッドリスト記 載	備考
	二次 林	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	緑化植物としての有用性		観賞性	文化・生活上 の価値			
ノカンゾウ		ユリ科 Hemerocallis fulva var. longituba	本州、 四国、 九州、 沖縄 情報なし	湿った場所	そう生形 70cm~ 90cm	多年草	開花期: 7月~8月	果実は長さ2 ~2.5cm	種子 株分け 自動散布	オレンジ色の 花	花、若芽、若 葉は食用とし て使用可 生薬として利 用可 万葉集に登 場 遊びに利用	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	花は一日でしぼむ一日花 株が年々大きくなり、混み合いすぎて花つきが悪くなった ら、3月から4月または10月から11月に、4~5芽をつけて 株分けする。 【近縁在来種】ヤブカンゾウ、ハマカンゾウ	
ノゲン		キク科	北海道、 本州、 四国、 九州 情報なし	日当たりの 良い場所	直立形 80cm	一・二年 草	成長期: 9月~11月 開花期: 4月~10月 結実期: 4月~11月	3mm 瘦果は最 長さ2.5~3.5(4) mm、扁平、両 面に縦脈と横 しわがある。 冠毛は長さ (5)6~8mm	種子 風散布	枝先に黄色い 頭花	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:無	タンポポのように綿毛の付いた種が風で飛ばされていく。 【出芽期】9~5月 【近縁在来種】オノゲシ		
ノコンギク		キク科	本州、 四国、 九州 低地、 丘陵、 山地	日当たりの よい場所	分枝形 50cm~ 100cm	落葉性 多年草	成長期: 4~11月 開花期: 8月~12月 結実期: 12月	2mm 瘦果は最 長さ2.2~2.7 mm、短毛があ る。冠毛は最 長さ4~5mm	種子、株分け 栄養繁殖、 さし芽・挿し 木、 刈り取り残渣 風散布	茎上部に多 数の花 舌状花は淡 い青紫色、筒 状花は黄色	人体:無 畑地:さび病 (アガマツ)の 中間宿主	環境省:無 都道府県:有	野にある結菊でノコンギク。栄養繁殖器官は根茎。株分 けは2月から3月の芽出し直前に行う。長い地下茎を半分 か1/3ほどに切っても良い。古い親株は弱い芽しかない ので切り捨てて整理する。挿し木は5月~6月によく伸び ている新芽を切り取り、清潔な用土にさす。 【生育特性】・耐乾性:弱い・耐陰性:無し ・耐暑性:強い・耐寒性:強い 【近縁在来種】カントウヨメナ、ユウガギク、シラヤマギク、 リュウノギク、シオン、シロヨメナ		
ノダケ		セリ科	本州、 四国、 九州 丘陵、 山地	林内、林縁	直立形 100cm~ 150cm	落葉性 多年草	成長期: 4~11月 開花期: 9月~11月	5mm、舟形 扁 平な広楕円 形	種子 風散布	黒紫色の花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	茎につく葉が少ないことから竹に見立てられたのが名前 の由来 【近縁在来種】ヒメノダケ、シロバナノダケ、イロニンジン、 ノダケモドキ、アシタバ、シシウド		
ノヂトメ		セリ科	本州、 四国、 九州、 沖縄 低地、 丘陵	やや湿った 場所	ほふく形 —	常緑性 多年草	開花期: 6月~9月	果実は長さ約 1.1mm、幅約 1.5mm、陰糸 は明瞭な稜と なる	種子 栄養繁殖 株分け 自動散布	—	情報なし	環境省:無 都道府県:無	葉より短い花柄を出す。 栄養繁殖器官は匍匐茎 【出芽期】3~5月 【近縁在来種】チドメグサ、ヒメチドメ、オオチドメ		



種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト 記載	備考
	二次 林	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活 の価値					
ノハラアザミ	○	キク科	本州(中部 地方以北)	日当たりの いい斜面	直立形 40cm~ 100cm	落葉性 多年草	開花期: 4月~10月 結実期: 8月~10月	種子 刈り取り残渣 風散布	枝先に紅紫 色の花	薬用等として 利用可 近世の詩歌 に登場 季語	情報なし	環境省:無 都道府県:無	ノハラアザミは、初秋から秋に咲く。花の基部の総苞片が斜め上に開出しているのが特徴 【近縁外来種】アザミ		
ハイメドハギ	○	マメ科	本州、 四国、 九州	日当たりの 良い場所	ほふく形 10cm~ 50cm	落葉性 多年草	開花期: 8月~10月	種子 刈り取り残渣 自動散布	紫色の花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	メドハギの近種 栄養繁殖器官は根 メドハギを参考		
ハエドクソウ	○	ハエドクソウ 科	北海道、 本州、 四国、 九州	情報なし	直立形 30cm~ 70cm	落葉性 多年草	開花期: 7月~8月	種子 自動散布	白色から淡紅 色の花 穂状 花序	情報なし	情報なし	環境省:有 (絶滅危惧II 類) 都道府県:有	昔、ハエ取り紙の原料になった。 【近縁外来種】ナガハエドクソウ		
ハハコグサ	○	キク科	日本全土	湿った場所	分枝形 15cm~ 40cm	一 一・二年 草	成長期: 10月~6月 開花期: 3月~6月	種子 風散布	枝先に多数 の黄色い頭 花	食用として使 用可 春の七草 薬用として利 用可 俳句 晩春の季語	人体:無 畑地:害草 (中~強)	環境省:無 都道府県:無	春の七草のひとつ「オギヨウ」がハハコグサ。 早春の淡い緑色の葉を昔は草餅に入れたが、今では七 草かゆいに少し入れる程度にしか用いない。 【出芽期】9~4月 【種子の保存性】3年間の常温保存が可能 【近縁外来種】チコグサ モドキ、ウラボシチコグサ		
ハハヤママボクチ	○	Gnaphalium affine	低地、 丘陵、 山地	日当たりの 良い場所	直立形 100cm~ 200cm	落葉性 多年草	開花期: 10月	種子 株分け 情報なし	茎先に暗い紫 色をした、筒 状花だけから なる大きな花 (頭花)	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	日本固有種 昔は火をつけるときに綿毛を乾燥させて用いた。 【近縁外来種】オヤマボクチ、ヤマボクチ		

種名	草地 二次林	基本情報										緑化植物としての有用性			レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活史 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	観賞性	文化・生活上 の価値	注意事項	環境省:無 都道府県:有				
ヒカゲスゲ	○	カヤツリグサ科 Carex lanceolata	北海道、本州、四国、九州	日当たりのよい岩地や草地等	そう生形 10cm~40cm	落葉性 多年草	開花期: 4月~6月 結実期: 4月~6月	瘦果は密に果胞に包まれ狭卵形。長さ2.5~2.8mm、幅1.2~1.5mm、鈍3稜形、濃褐色光沢あり	種子 情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名は日陰菅と書くが、日当たりのよい場所に生育する。 【近縁在来種】ホソバヒカゲスゲ			
ヒキオコシ	○	シソ科 Rabdosia japonica	本州、四国、九州	日当たりのよい場所	直立形 100cm	落葉性 多年草	開花期: 9月~10月	果実は長さ2.5~3mm、4分果、萼筒に包まれて熟す。分果は長さ約1.6mm、頭部に腺点がある	種子 自動散布	葉草として利用可	人体:情報なし 畑地:さび病(アカマツリ)の中間宿主	環境省:無 都道府県:有	別名延命草(えんめいそう) 私法大師が倒れている行者に飲ませ、病人をひき起こしたのでヒキオコシと呼ばれた。 【近縁在来種】クロハナヒキオコシ			
ヒゴクサ	○	カヤツリグサ科 Carex japonica	北海道、本州、四国、九州	林床	そう生形 20cm~40cm	落葉性 多年草	開花期: 4月~6月 結実期: 4月~6月	長さ約2mmの3稜のある倒卵形、柱頭は3岐	種子 情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	肥後章に記載することもある。 【近縁在来種】エチナヒゴクサ			
ヒトリシズカ	○	センリョウ科 Chloranthus japonicus	北海道、本州、四国、九州	湿った明るい日陰	直立形 10cm~30cm	落葉性 多年草	開花期: 4~5月	果実は緑色のまま熟す 果実は長さ約3mmの広卵形	種子 株分け 自動散布	季語 万葉集後の歌集や文芸等に名が登場 観賞用栽培薬用として利用可能 食用も可能であるが一般的ではない	人体:無農地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	素朴な美しさが備わった白いブラン状の花を咲かせる。 大株は、休眠中に2~3分割する あまり小さくしない。 【生育特性】 ・耐陰性:強い ・耐暑性:普通 ・耐寒性:強い 【近縁在来種】キビヒトリシズカ、フタリシズカ			
ヒメカンスゲ	○	カヤツリグサ科 Carex conica	北海道、本州、四国、九州	やや乾いた林の中	そう生形 20cm~50cm	常緑性 多年草	結実期: 4月~6月	果実は長さ約2.5mm、3稜のある卵形で柄あり。柱頭は3岐 鱗片は赤褐色が濃いもの、淡色のものあり	種子 株分け 情報なし	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	非常に細い葉は冬でも枯れず、常緑のままである。 早春に咲くブラン状の花に触ると花粉が煙のように飛び散る。 【近縁在来種】スルカンスゲ、コカンスゲ			

種名	草 地 二次 林	基本情報										緑化植物としての有用性		注 意 事 項	レッドリスト記 載	備 考
		科名 学 名	自然分布 地 形	生育形 草 丈	生育環境 情報なし	生育形 草丈	落葉区分 生活型	実(種子) の外観	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	親 質 性	文化・生活上 の価値			
ヒメスゲ	○	カヤツリグサ 科	北海道、 本州、 四国、 九州	そう生形	落葉性	結実期： 5月～7月	果胞は倒卵 形、長さ2.5～ 3.5mm、短毛 で脈はない	種子 株分け	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	環境省：無 都道府県：有	和名は姫菅で全体小型であるため 【近縁在来種】スイオスゲ、タデシナヒメスゲ		
ヒメハギ	○	ヒメハギ科	日本全土	ほふく形	常緑性	開花期： 4月～7月	種子は黒褐 色、長さ約2.5 mm、白毛が密 生し、大きな 種次(カルン クラ)がある	種子 自動散布	紫色の花	葉草として利 用可	情報なし	環境省：無 都道府県：有	マメ科のハギに似て小さいことからヒメハギと呼ばれてい る。 夏以後も閉鎖花により果実をつける。			
ヒヨドリバナ	○	キク科	日本全土	直立形	落葉性	成長期： 4～10月 開花期： 10月～8月	果実は長さ約 3mm、表面に 腺点がある 冠毛には上 向き刺がある	種子 株分け さし芽・挿し木 刈り取り残渣 風散布	散房状に多 数の筒状の 頭花	俳句 初秋の 季語 観賞用栽培	人体：情報な し 畑地：さび病 (コヨウマツ、 チヨウセンゴヨ ウ)の中間宿 主	環境省：無 都道府県：有	中国で古くから香草として珍重されたフジバカマの仲間 株分けは植え替えと同様にを行う。周囲をほぐし、根鉢ごと を天ざしをする。 【近縁在来種】ホシナンヒヨドリバナ、サケバヒヨドリ、サウ ヒヨドリ			
フキ	○	Eupatorium chinense var. oppositifol ium	丘陵、 山地、 亜高山	直立形	多年草	成長期： 2月～10月 開花期： 2月～4月	種子は約 2mm	種子 株分け 栄養繁殖 風散布	密な散房状 の花。 雌株は白色、 雄株は黄白 色の花。	食用として使 用可 薬用と して利用可 遊びに利用 春の季語 庶 物類纂図鑑 に掲載	人体：無 畑地：さび病 (コヨウマツ、 チヨウセンゴヨ ウ)の中間宿 主	環境省：無 都道府県：有	雌雄異株 春の花芽はフキノトウ、葉柄はキャラブキの材料 栄養繁殖器官は根茎 【出芽期】2～5月 【近縁外来種】ブタナ、ヒメブタナ			
フタリシズカ	○	センリョウ科	北海道、 本州、 四国、 九州	直立形	落葉性	開花期： 4～6月	核果で長さ約 3mmの広倒 卵形、熟して も緑色	種子 株分け 自動散布	穂状花序に 柄のない白色 の花	俳句 春の季 語	情報なし	環境省：無 都道府県：有	花糸は短く、ヒトリシズカのように糸状にならない。大株 は、休眠中に2～3分割して植えつけ。小さく分けると、弱 くなる。株分けで株が返る。 【近縁在来種】ヒトリシズカ、キヒトリシズカ			

種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性		注意事項	レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値	人体・有(若 芽に毒性) 畑地:情報なし				
フデリンドウ 	○	リンドウ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日の長く当 たる場所	直立形	—	開花期: 4月~5月 結実期: 5月~6月	果実は上向き につき、熟す と2裂し、雨の 日の上に開い て雨を溜め、 種子が流れ 落ちる	種子 種子	空色の花	俳句 晩春の 季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	日の当たるときだけ花が開く。 2年草のため、種子でしか増えることができない。 【近縁在来種】コケリンドウ、ハルリンドウ		
		Gentiana zollingeri	山地		5cm~ 10cm	一・二年 草	成長期: 4月~8月 開花期: 4月~5月	7mm、果実は 直径約1cmの 球形の液果、 黒色に熟す	種子 株分け 水散布	枝先に淡緑 白色の筒状 の花 黒い実	情報なし	人体:有(若 芽に毒性) 畑地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	寺院の軒先に吊り下げられている「ほうちやく」という種のような飾りに花が似ているのが名前の由来 親株は細い地下茎を伸ばして3~5芽にふえる。親株と地下茎は休眠中に枯れてなくなるので、植え替えれば自然に株分けしたことになる。 【生育特性】 ・耐陰性:有・耐暑性:普通・耐寒性:強い 【近縁在来種】アマドコロ、ナルコユリ、チゴユリ		
ホタルカズラ	○	ムラサキ科	日本全土	乾いた場所	ほふく形	落葉性	開花期: 4月~5月	情報なし	種子 さし芽・挿し木	紫色から青色 に変化する花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	種に紫色の色素成分があり、染めると紫色になる。 花色が美しい鮮やかな青色で、蛍光色を帯びているように見えるので「ホタル」にたとえられる。 8月から9月に行う。さし種は茎の先端を使い、切り口には発根促進剤をつける。 【近縁在来種】ムラサキ、イスマラサキ		
		Lithospermu m zollingeri	山地		15cm~ 20cm	多年草			種子 自動散布	枝先から淡紅 紫色から白色 の鐘形花	食用として使 用可能 観賞用栽培 俳句 仲夏の季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	名は提灯の昔の呼び名「火垂る袋」によるといわれている。 株元から発芽したほふく枝を数本根をつけて株分けする。 【種子の保存性】湿らせた川砂に混ぜ、1か月ほど冷蔵庫の野菜室に入れてから播くと発芽がそろう。 【生育特性】・耐乾性:普通~強い・耐陰性:普通 ・耐暑性:普通 ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ヤマホタルブクロ		
ホタルブクロ 	○	キキョウ科	日本全土	日当たりの よい草原や 林縁	直立形	落葉性	成長期: 4~9月 開花期: 6月~7月	果実は鐘形 又は逆コーン 形。 種子は灰褐色、 平滑、長さ 約1mmの楕 円形	種子 株分け 自動散布	枝先から淡紅 紫色から白色 の鐘形花	食用として使 用可能 観賞用栽培 俳句 仲夏の季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	名は提灯の昔の呼び名「火垂る袋」によるといわれている。 株元から発芽したほふく枝を数本根をつけて株分けする。 【種子の保存性】湿らせた川砂に混ぜ、1か月ほど冷蔵庫の野菜室に入れてから播くと発芽がそろう。 【生育特性】・耐乾性:普通~強い・耐陰性:普通 ・耐暑性:普通 ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ヤマホタルブクロ		
		Campanula punctata	低地、 丘陵、 山地		60cm~ 100cm	多年草			種子 自動散布	枝先から淡紅 紫色から白色 の鐘形花	食用として使 用可能 観賞用栽培 俳句 仲夏の季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	東京池上の本門寺でしられ、和名の由来となった。 【近縁在来種】ニシノホンモンズグ、コンノホンモンズグ、他		
ホンモンズグ	○	カヤツリグサ 科	関東	林床	そう生形	落葉性	結実期: 4月~5月	情報なし	種子	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	東京池上の本門寺でしられ、和名の由来となった。 【近縁在来種】ニシノホンモンズグ、コンノホンモンズグ、他		
		Carex pisiformis	丘陵		30cm~ 40cm	多年草			種子 情報なし	—	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	東京池上の本門寺でしられ、和名の由来となった。 【近縁在来種】ニシノホンモンズグ、コンノホンモンズグ、他		

種名	草地	基本情報										緑化植物としての有用性			注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	分枝形	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	親賞性	文化・生活上 の価値						
マキエハギ	○	マメ科 Machilus japonica	本州、 四国、 九州、 沖縄	日当たりの よい、乾燥し た場所	草丈 分枝形	落葉性 生活型	成長期: 4~10月 開花期: 8月~9月	3mm、網目模 様がある	種子 さし芽・挿し木 自動散布	葉の脇からの 総状花序に 数輪の白い 蝶形花	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名は花柄が蒔絵の筆法を思わせることによる。 6月上旬~9月下旬(なるべく夏までに済ませる)に挿し穂 の2/3ほどを土中に埋める「深挿し」にする。 【近縁在来種】イヌハギ			
マツムシソウ	○	マツムシソウ科 Matsumisia japonica	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりと 水はけのよ く、比較的冷 涼な場所	直立形 10cm~ 100cm	— 一・二年 草	開花期: 8月~10月	種子は、瘦果 で約4mmの高 形 上部の刺によ り動物の体に くっつく	種子 さし芽 動物散布	花柄の先に 淡紫色の花	情報なし	環境省:有 (絶滅危惧Ⅱ 類) 都道府県:有	マツムシソウが鳴くころに咲くのでこの名がつけられている。 【種子の依存性】タネの寿命は短く、古くなるほど発芽率 が低下 【生育特性】 ・耐乾性:強い ・耐暑性:強い~強い ・耐寒性:強い ・耐陰性:弱い 【近縁在来種】ミガワマツムシソウ、タカホマツムシソウ、 ナレマツムシソウ				
マムシグサ(広義)	○	サトイモ科 Arisaema serratum	北海道、 本州、 四国、 九州	やや湿った 林内	直立形 情報なし	落葉性 多年草	開花期: 4月~6月 結実期: 10月~11月	果実は赤く熟 す 淡い緑色の 仏炎苞 赤い果実	種子 その他 分球 動物散布	柄の先に淡い 紫色ないし、 淡い緑色の 仏炎苞 赤い果実	人体:有(地 下茎が有毒) 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	球根の小さい数年は雄花で栄養がたまってくると雌花に 変わる、外形の変異が著しい。 【近縁在来種】コウライテンナンショウ、ホソバテンナンショ ウ、他				
ミズヒキ	○	タデ科 Antennaria filiforme	日本全土	半日陰	直立形 40cm~ 80cm	落葉性 多年草	成長期: 4~9月 開花期: 8~9月 結実期: 9~11月	3mm 完全に熟 すと、実は基 部から外れて くっつく	種子 動物散布	花軸にまばら につく小さい 花 上半分は赤 く、下半分は 白い	情報なし	環境省:無 都道府県:有	紅白の花を「水引」に見立てて見立てて名がついた。				
ミツバアケビ	○	アケビ科 Akebia trifoliata	北海道、 本州、 四国、 九州	林縁	つる形 —	落葉性 木本類	開花期: 4~5月	果実は長さ約 10cmの楕円 形、秋に紫色 に熟し、裂開 する。種子は 長さ6~7mmの 卵形	種子 接ぎ木 動物散布	垂れさがって 咲く淡紫色の 花 長楕円形の 淡紫色の実	人体:無 農地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	雌雄同株 【生育特性】 ・耐暑性:強い ・耐陰性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ミツバアケビ、ゴヨウアケビ、ムベ				

種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意事項	レッドリスト記載	備考
	草種	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	落葉区分 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値				
ミソハヅチグリ	○	バラ科	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たりの よい丘陵地	ほふく形	落葉性	開花期： 4～5月	瘦果は帯白 褐色。長さ約 1.2mm、幅約 0.9mm、丸みを おびた卵形で 表面にしわ。 腹面に細長い、 付属体	種子 栄養繁殖 株分け	花茎に集散 状に黄色い5 弁花	情報なし	環境省：無 都道府県：有	キジムシロに似たかわい花を咲かせる。 栄養繁殖器官は菊科、根莖 【近縁外来種】キジムシロ、ツルキジムシロ		
ミミナグサ	○	ナデジコ科	日本全土	湿った場所	分枝形	—	開花期： 4～6月	蒴果は長さ8 ～10mm、熟す と先端が浅く 10裂し、外側 にやや開く。 種子は長さ約 0.8mm。	種子 自動散布	枝先に白い5 弁花	人体：無 農地：さび病 の中間宿主、 害草(中～ 強)(畑地雑 草)	環境省：無 都道府県：有	和名は耳菜草で、葉がネズミの耳に似て、若い時には食 用となることによる。 種子は重力散布(上記散布型では自動散布を含む) 【近縁外来種】オランダミミナグサ 【近縁外来種】コハコベ、ミドリハコベ		
ミヤコアザミ	○	キク科	本州、 四国、 九州	湿地	直立形	落葉性	開花期： 5月～10月	情報なし	情報なし	濃い赤紫色 の頭花	情報なし	環境省：無 都道府県：有	上品な花の姿		
ミヤコグサ	○	マメ科	北海道、 本州、 四国、 九州、 沖縄	日当たりの よい場所	分枝形	落葉性	成長期： 3～10月 開花期： 5月～7月	豆果。扁平 種子。扁平 な卵形、濃茶 褐色で光沢あ り 長さ約1.3mm	種子 栄養繁殖 株分け 自動散布	鮮やかな黄 色の蝶形花	人体：無 農地：情報な し	環境省：無 都道府県：無	茎は地上を這って四方に広がる。 青、京都や奈良といった都に多く見られた。 栄養繁殖器官は根莖 【出芽期】9～11月 【近縁外来種】セイウミヤコグサ、ネビキミヤコグサ		
ムベ	○	アケビ科	本州、 四国、 九州、 沖縄	日当たりの よい場所	つる形	常緑性	成長期： 4～9月 開花期： 4～5月	果実は赤紫 色に熟し、熟 しても果実に入 り 割れ目は入ら ない 種子は8mm	種子 接ぎ木 さし芽・挿し木 自動散布	下向きに咲 く、白色から 淡紫色の花	人体：無 農地：情報な し	環境省：無 都道府県：有	大賢の際に献上されていた果実を包且(オオムベ)と呼ん でいたのが名前の由来とされている。 6月から7月にさし木する。 【生育特性】 ・耐陰性：無 ・耐暑性：強い ・耐寒性：やや弱い 【近縁外来種】 アケビ、ミソハヅチ、ゴヨウアケビ		



種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
		科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値					
モミジイチゴ	○	バラ科 学名	本州(中部 地方以北)	情報なし	直立形 100cm~ 200cm	落葉性 木本類	成長期: 4~9月 開花期: 4月~ 結実期: 5~7月	2mm 果実は葉 の下につき、 直径1~1.5 cm、6月~7月 に橙黄色に熟 し、食べられ る	種子 株分け さし芽・挿し木 動物散布	葉の脇に白い 5弁花 葉の紅葉(黄 色)	果実を食用と して使用可 併用の季語	人体:刺有り 農地:情報な し	環境省:無 都道府県:無	葉がモミジに似ているので「紅葉莓」と呼ばれるように なった。 【近縁在来種】ナガバモミジイチゴ		
モリアザミ	○	キク科 学名	本州、 四国、 九州	日当たりの よい場所	直立形 50cm~ 100cm	落葉性 多年草	開花期: 9月~10月	情報なし	情報なし 風散布	枝先に淡赤 紫色の頭花	食用としての 使用可 季語	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	コボウのような根を食用にする有用な多年草 長野、岐阜、山梨、鳥根などで栽培される。		
ヤクシソウ	○	キク科 学名	北海道、 本州、 四国、 九州	日当たり良 いやや乾い た場所	分枝形 30cm~ 120cm	一・二年 草	成長期: 11月~11月 (翌年) 開花期: 8月~11月	3mm 瘦果は長 さ2.5~3.5mm 黒褐色、喙は 長さ0.2~0.6 mm冠毛は長さ 3.5~4.5mm 白色	種子 風散布	黄色の舌状 花	食用として使 用可 薬草として利 用可 腫物に塗布	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	食べるこ苦い。		
ヤハズエンドウ	○	マメ科 学名	本州、 四国、 九州、 沖縄	日当たりの よいところ	つる形 10cm~ 30cm	一・二年 草	開花期: 4月~6月	豆果は長さ3 ~5cm 種子は直径 約9mmの球 形、次第に褐 色が濃くな り、黒色の斑 点がある	種子 自動散布	淡紫紅色の 蝶形花	情報なし	人体:情報な し 農地:ムギ作 で害草	環境省:無 都道府県:無	別名【カラスノエンドウ】 さやを割って種を除き、片方をちぎって吹くと、ピーと音が 出る。 【出芽期】9~3月 【近縁在来種】ホンソバヤハズエンドウ、シロバナヤハズエ ンドウ、ツルナンヤハズエンドウ、スズメノエンドウ、カス マグサ		
ヤハズソウ	○	キク科 学名	日本全土	情報なし	分枝形 10cm~ 25cm	一・二年 草	成長期: 4~11月 開花期: 8月~10月	果実は長さ約 3.5mm、先が 急に尖り、1個 の種子が入 る。種子は扁 平な卵形、濃 紫色で長さ約 2mm	種子 自動散布	淡紅紫色の 蝶形花	葉の先端と基 部を持って 引つ張って遊ん だ。窓占いと しても遊ぶ	情報なし	環境省:無 都道府県:無	小葉をちぎると矢管のようにV字形に切れる。 種子は重力散布(左記では自動散布に含む) 【出芽期】5~6月 【種子の保存性】4年間の常温保存が可能 【近縁在来種】マルバヤハズソウ		

種名	草種	基本情報										緑化植物としての有用性	注意事項	レッドリスト記載	備考
		科名 学名	自然分布 地	生育環境	生育形 草丈	落葉性 生活型	生活史	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値				
ヤブレガサ	○	キク科 Synnilesis palmata	本州、四国、九州 丘陵、山地	風が強く当たらない、明るい日陰	直立形 100cm	落葉性 多年草	成長期: 11月~10月 開花期: 7月~10月 結実期: 2月	瘦果は長さ約4mm、多数の縦肋あり 冠毛は長さ約7mm、汚れた白色	種子 株分け 風散布	葉は芽生えが破れた傘のような姿	食用として使用可	人体:無 知地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	春の芽生えの姿が破れた番傘に似ている。枯れた古い痕跡を取り除くと自然にいくつかの株に分かれる。 【種子の保存性】晩秋にタネをとって冷蔵庫に入れる(低温湿潤処理) 【生育特性】 ・耐陰性:有 ・耐寒性:強い ・耐暑性:強い 【近縁在来種】モミジガサ	
ヤマアワ	○	イネ科 Calamagrostis epigeios	北海道、本州、四国、九州 低地、山地	湿地や通った場所	直立形 60cm~150cm	落葉性 多年草	開花期: 7月~9月	実(種子)はイネ科の果実で薄い木質の果皮が種子に密着している	種子 情報なし	茎先に円錐花序 白っぽい緑色の小穂	情報なし	環境省:無 都道府県:有	和名の由来は花序が粟(アワ)に似て山地に多いことによるが、食用にはならない。 【近縁在来種】ホツスカヤ		
ヤマオダマキ	○	キンポウゲ科 Aquilegia buergeriana	北海道、本州、四国、九州 山地	日当たりと風通しの良い場所	分枝形 30cm~50cm	落葉性 多年草	成長期: 4~9月 開花期: 6月~8月	2mm	種子 株分け 情報なし	花弁が黄色、萼片が紫褐色の色の	葉草として利用可	環境省:無 都道府県:有	花の形が、麻糸を巻きつけた管に似る。株分けは3月頃が適期。芽を傷つけないように根をよく切れる刃物で縦に裂き土に植え付け。成功率が悪い。 【近縁在来種】キハバナヤマオダマキ、ミヤマオダマキ		
ヤマカモジグサ	○	イネ科 Brachypodium sylvaticum	北海道、本州、四国、九州 丘陵、山地	乾いた環境	そう生形 情報なし	落葉性 多年草	開花期: 6月~7月	果実は広線形、乳褐色で長さ5.5~7mm	種子 刈り取り残渣 情報なし	-	情報なし	環境省:無 都道府県:有	単穂状で、多少とも下垂する。 【近縁在来種】エンカモジグサ		
ヤマジノホトトギス	○	ユリ科 Tricyrtis affinis	北海道、本州、四国、九州 山地	半日陰	直立形 30cm~60cm	落葉性 多年草	成長期: 3月~11月 開花期: 8月~10月	種子は長さ約2mm	種子 株分け 自動散布	白地に紅葉色の斑点がある花	若葉、若芽を食用として使用可 季節	人体:無 知地:情報なし	環境省:無 都道府県:有	山路に生えるホトトギスの意味 株分けは2月~5月まで可能 【生育特性】 ・耐陰性:有 ・耐寒性:普通 ・耐暑性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ヤマホトトギス	



種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考
	草地 二次 林	科名 学名	自然分布 地形	生育環境	生育形 草丈	生活区分 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子散布型	觀賞性	文化・生活上 の価値	情報なし				
ヤマニガナ	○	キク科 Lactuca raddeana var. elata	北海道、 本州、 四国、 九州 山地	情報なし	直立形 100cm~ 200cm	一 一・二年 草	成長期: 10月~9月 開花期: 8月~9月	種子 散布型	円錐花序に ややまばらに つく黄色い頭 花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	植物体の大きさに対して頭花の大きさが小さくあまり目立 たない。 【近縁在来種】ムラサキニガナ			
															風散布
ヤマハツカ	○	シソ科	北海道、 本州、 四国、 九州 丘陵、 山地	情報なし	直立形 60cm~ 90cm	落葉性 多年草	開花期: 9月~10月	種子 自動散布	青紫色の唇 形花。内側に 濃い青紫色 の斑。 茎頂の細長 い穂状の花 序にややまば らにつく	情報なし	人体:情報な し 畑地:さび病 (アカマツ)の 中間宿主	環境省:無 都道府県:有	ハツカの名前がついているが、ほとんど臭わない。 【近縁在来種】シロバナヤマハツカ、ヒキオコシ、イヌヤマ ハツカ、コウシンヤマハツカ		
ヤマホトトギス	○	ユリ科	北海道、 本州、 四国、 九州 丘陵、 山地	林下	直立形 30cm~ 70cm	落葉性 多年草	開花期: 7月~9月	種子 株分け 自動散布	散房花序で 白地に紅紫 色の斑点が ある花	季語	情報なし	環境省:無 都道府県:有	全国に自生する野生種 株分けは2月~5月まで可能 【生育特性】 ・耐陰性:有 ・耐暑性:普通 ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ホトトギス、ヤマジノホトトギス		
ヤマユリ	○	ユリ科	本州 丘陵、 山地	日陰がちな 斜面	直立形 100cm~ 150cm	落葉性 多年草	成長期: 4月~9月 開花期: 7月~8月 結実期: 10月~11月	種子 分球 木子 鱗片さし 情報なし	白地に赤褐 色の斑点と黄 色い筋が入る 大きな花	食用として使 用可 薬草として利 用可 万葉集に登 場 季語	人体:無 畑地:情報な し	環境省:無 都道府県:有	他の山野草にはない大きさで華やかさ 風がなくても揺り動くのが名前の由来 分球は生育が順調な株であれば2月~3月に可能 地中の茎についている木子(小さな球根)は茎が枯れた ら集める。 【生育特性】 ・耐陰性:無 ・耐暑性:普通 ・耐寒性:普通		
ヤマランキョウ	○	ユリ科	本州(秋田 県以南)、 四国、 九州、沖縄 低地、 丘陵、 山地	やや湿った 場所	直立形 30cm~ 50cm	落葉性 多年草	開花期: 6月~8月	種子 株分け 自動散布	茎の頂に十 数個の濃紅 紫色の花	情報なし	環境省:無 都道府県:有	枯れはじめた植物の多い晩秋の草原を彩る印象深い花 株は良く殖えるので、早春に株分けする。 【近縁在来種】シロバナヤマランキョウ			

種名	基本情報										緑化植物としての有用性		注意 事項	レッドリスト記 載	備考		
	草 地		科名		生育形		生活史		実(種子) の外観		繁殖方法					親 観賞性	文化・生活上 の価値
	二次 林	科名 学名	自然分布 地	生育形 草丈	生活史 落葉性	生活史 生活型	実(種子) の外観	繁殖方法 種子	種子 散佈型	親 観賞性	文化・生活上 の価値						
ヨソバヒヨドリ	○	キク科	北海道、 本州、 九州	直立形	落葉性	開花期: 7月~9月	瘦果は5角柱 形、長い冠毛 がある	種子 株分け さし芽・挿し木 刈り取り残渣	筒状花が葉 まわりの葉や 薄い赤色の 花	若葉を食用と して使用可 薬用酒も可 薬草として利 用可	人体:情報な し 畑地:さび病 (コヨウマツ・ チヨウセンゴヨ ウ)の中間宿 主	環境省:無 都道府県:有	葉が4枚からで、3枚や5枚の場合もある。 株分けは、植え替えと同様に、周囲をほぐしたあと、 根鉢ごと1/3~1/2に切り分ける。 5月から6月に、茎の先端をさし穂に使う天竺しをする。				
ヨソバヒヨドリ	○	Eupatorium chinense ssp.sachalinense	山地、 亜高山	100cm	多年草	開花期: 5月~6月	果実は瘦果 果実は2個の 分果からな り、曲がった こぶ状の突起 が密生する	種子 自動散布	茎の先や葉 腋から出した 花序に小さな 淡黄緑色の 花 葉は小さいな から紅葉	情報なし	情報なし	環境省:無 都道府県:有	花は気をつけていないと見えないほど小さい。 【近縁在来種】ヒメツバムグラ、ヤマムグラ、ホンソバノヨソバムグラ				
リュウノウギク	○	キク科	本州、 四国、 九州(宮崎 県)	直立形	落葉性	成長期: 4~11月 開花期: 10月~11月	2mm 果実は長 さ約1.8mm、冠 毛は無い	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	舌状花は白 色、筒状花は 黄色	万葉集に登 場 季語 浴湯用として 薬効あり	情報なし	環境省:無 都道府県:有	葉や茎をちぎって揉むと樟腦しよのうのような香りが する。 地下茎で増えるので、容易に増やせる。 【近縁在来種】キク、リュウノウギク				
リンドウ	○	リンドウ科	本州、 四国、 九州	直立形	落葉性	成長期: 3月~11月 開花期: 9月~10月	種子は2mm 程度で、網目 模様がある	種子 株分け さし芽・挿し木 自動散布	紫色の鐘型 花	薬用として利 用可 俳句 秋の季語 切り花や観賞 用栽培に利 用可 庭物類 葉図翼に掲 載	情報なし	環境省:無 都道府県:有	秋の山を代表する山野草 花は日が当たると開き、驚くとしぼんでしまう。 3月~11月中旬。その他詳細の記載なし。 【近縁在来種】ホンソバノリンドウ、アサマリンドウ				
フレモコウ	○	Gentiana scabra var.buergeri	低地、 丘陵、 山地	20cm~ 100cm	多年草	成長期: 4~9月 開花期: 8月~10月	実(種子) は	種子 株分け 刈り取り残渣 自動散布	長楕円形の 種状の花序 に密に暗紅紫 色の花	切り花、観賞 用栽培 俳句 晩秋の季語 庭物類葉図 翼に掲載 葉 草利用可 食 用(若葉)利 用可	人体:刺有り	環境省:無 都道府県:有	つぼみが十字に割れている。 秋の風情に欠かせない花として親しまれる。 丈夫な山草なので分けるだけなら生育期にいつでもでき る。 【種子の保存性】冷蔵庫に保管 【生育特性】 ・耐暑性:強い ・耐寒性:強い 【近縁在来種】ウラゲフレモコウ、ナガボノアカフレモコウ				

